システムキッチン

センターキッチン(970)Ⓔ　取付・設置説明書

この説明書はお客さまに必ずお渡しください。

必ずお守りください

表示について

この取付・設置説明書では、製品を安全に正しく取付・設置し、お客さまや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、下の表示を行っています。いずれも使用者の安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

⚠警告　この表示を無視して、誤った設置をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意　この表示を無視して、誤った設置をすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

⃠ この記号は禁止の行為であることを告げるものです。

❗ この記号は必ず実行していただきたいことを告げるものです。

シンクキャビネットに同梱されている取扱説明書は、お客さまにお渡しする大切な書類です。
紛失や汚れが生じないように大切に保管し、取付・設置完了後、お引き渡し時にお客さまにお渡しください。

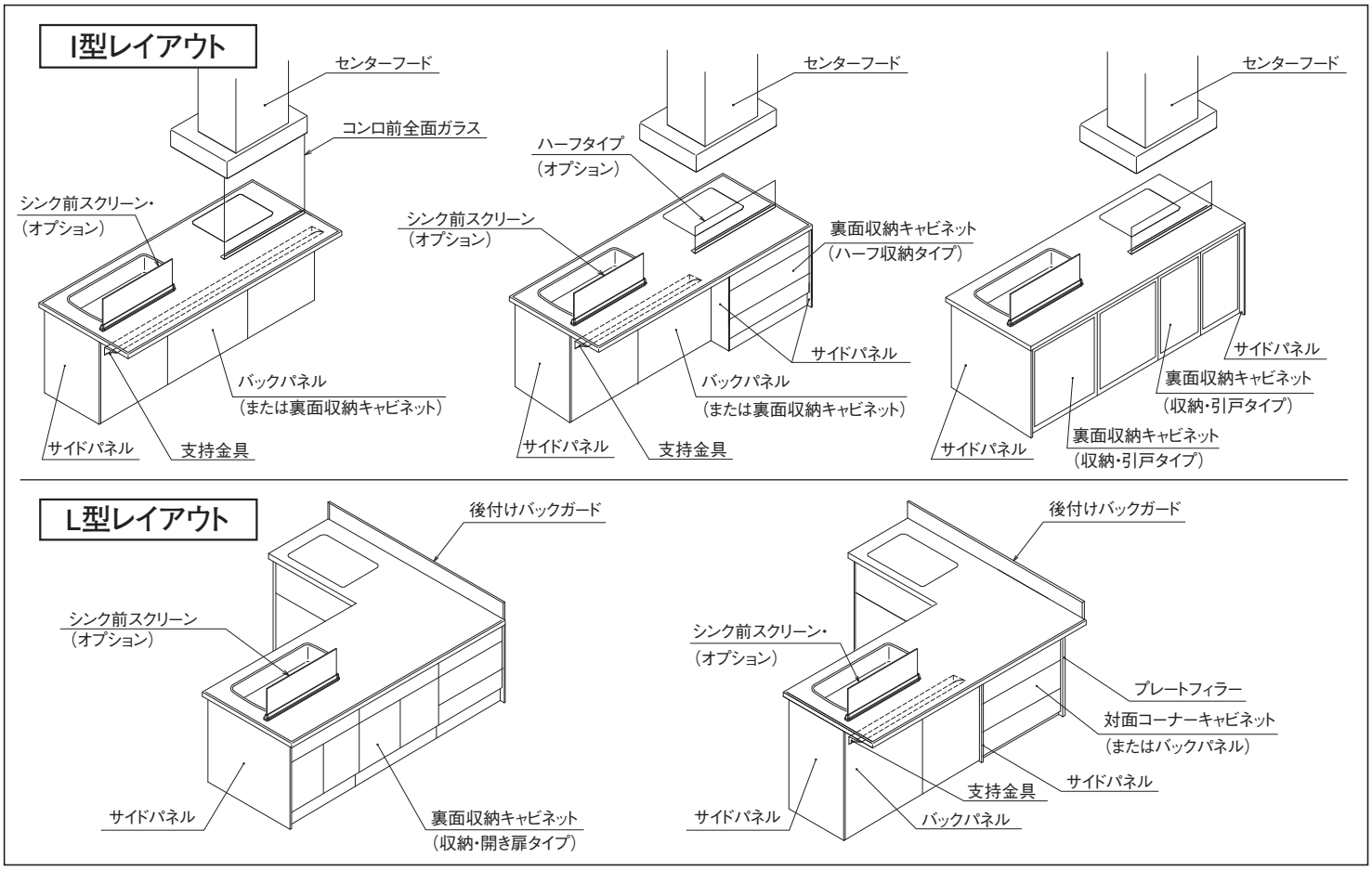
本製品のホルムアルデヒド発散区分

表示内容					
1	商品名	サンヴァリエ〈リシェル SI〉	6	ホルムアルデヒド発散材料区分詳細	P B　F☆☆☆☆ MDF　F☆☆☆☆ 合板　F☆☆☆☆ 接着剤　F☆☆☆☆
2	企業名	株式会社LIXIL			
3	ホルムアルデヒド発散区分	内装仕上げ部分及び下地部分とも F☆☆☆☆			
4	表示ルール	「住宅部品表示ガイドライン」キッチン・バス工業会表示指針による。	7	本表示に関するお問い合せ先	お客さま相談センター TEL・FAXはキッチン取扱説明書(ウラ表紙)に記載
5	製造番号又は年月日	キャビネット本体に貼付の検査証によりご確認下さい。			

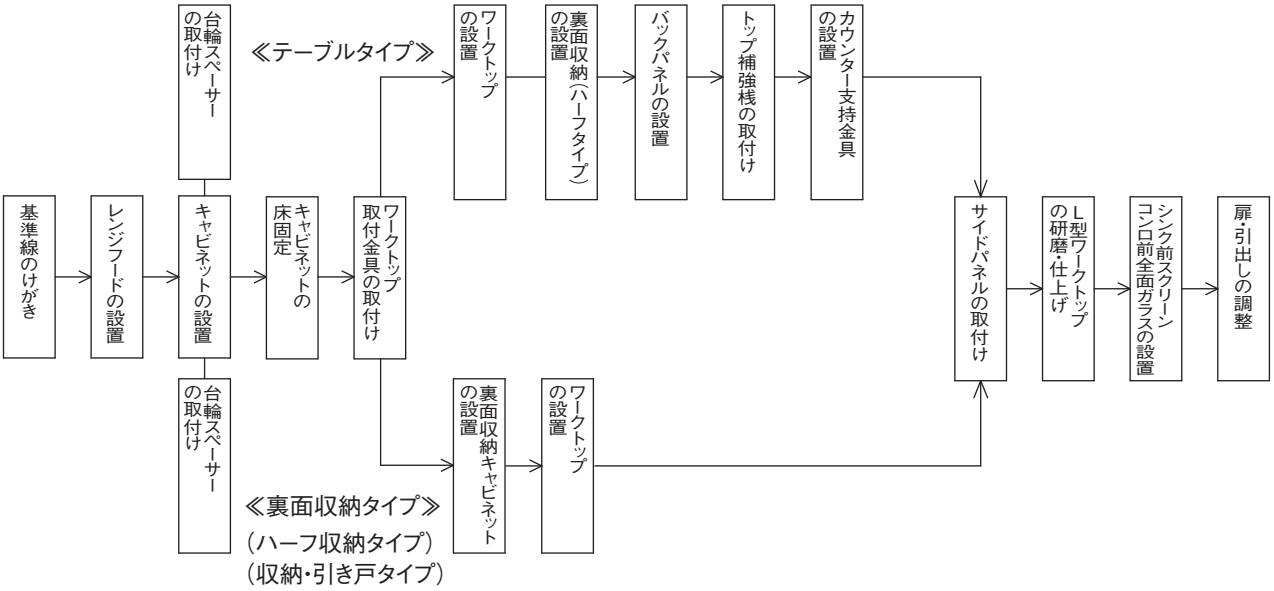
VOC放散性能	4VOC基準適合(木質建材)
表示ルール	住宅部品VOC表示ガイドラインによる

※4VOCとは、トルエン・キシレン・エチルベンゼン・スチレンを示す。

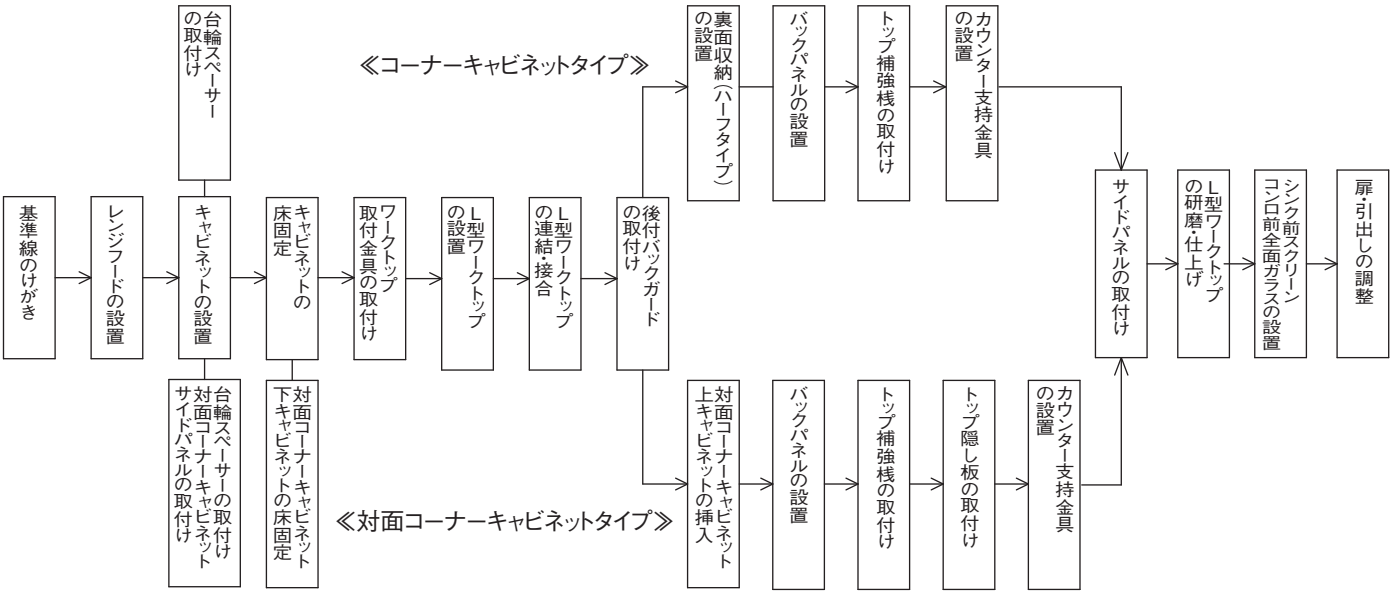
■センターキッチンの部材名称



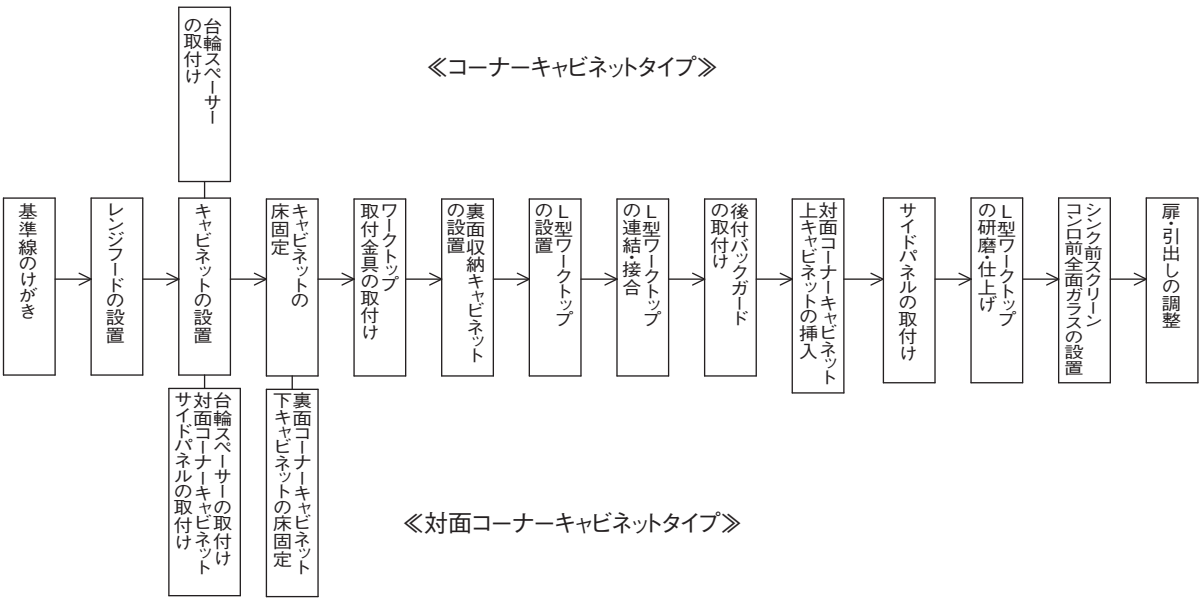
■センターキッチンI型　取付・設置手順表



■センターキッチンL型（テーブルタイプ）取付・設置手順表



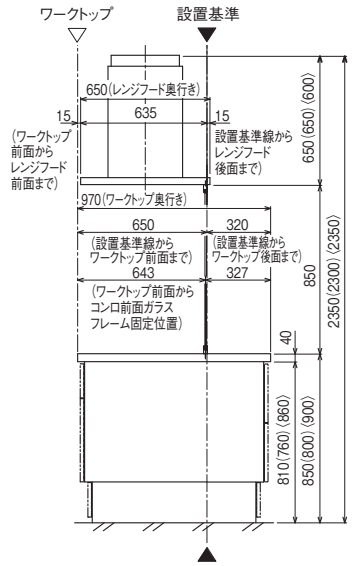
■センターキッチンL型（収納・開き扉タイプ）取付・設置手順表



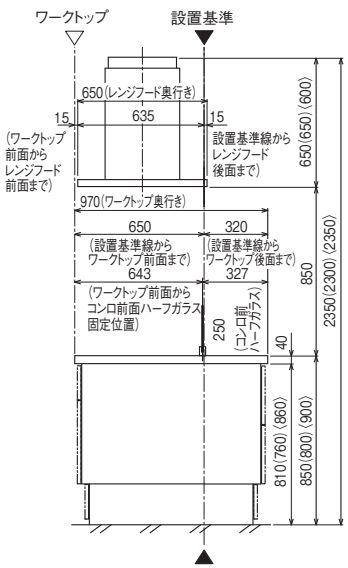
1 取付位置・平面設置位置

■センターキッチン　下図の標準の高さを参考にしてください。イラストは、FEDシリーズを示します。
センターキッチン・対面キッチン用のレンジフードの機種により、設置基準ラインとの納まり位置は異なるますので、ガイドまたは、設備レイアウト図を参照ください。

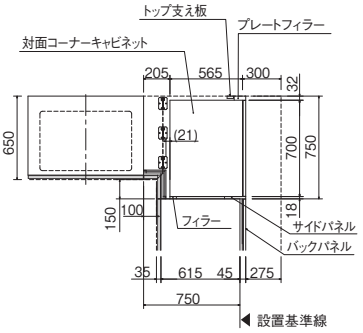
コンロ前
全面ガラス仕様



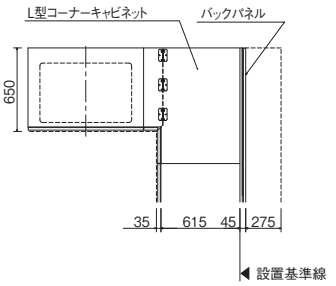
コンロ前
ハーフガラス仕様



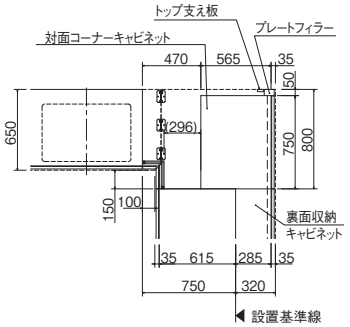
■対面コーナーキャビネットを使用する場合
<テーブルタイプ>



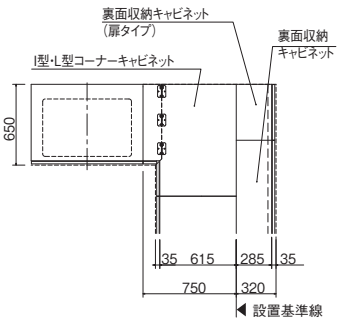
■L型コーナーキャビネットを使用する場合
<テーブルタイプ>



■対面コーナーキャビネットを使用する場合
<裏面収納キャビネットタイプ>



■L型コーナーキャビネットを使用する場合
<裏面収納キャビネットタイプ>



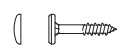
2 同梱部品一覧表

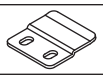
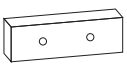
⚠注意

必ず指定のねじ類を使用する。
使用しないと、製品の落下などによりケガの原因となります。

取付・設置で使用するねじを固定する場合は、必ずドライバーで行い、しめすぎによるねじの空回り、頭つぶれのないようにする。
固定ねじがきかないと、キャビネットなどが落下してケガの原因となります。

■同梱部品一覧表（プランによっては付属されていない部品があります）

大皿フレキタッピンねじ 5.3×60（φ17キャップ付）		壁面固定用
大皿フレキタッピンねじ 5.3×27（φ17キャップ付）		連結用 サイドパネル固定用
皿木ねじ3.3×32		ワークトップとキャビネットの固定用 （人造大理石のみ）
カウンター取付金具		ワークトップとキャビネットの固定用
カウンター取付金具 （合板付き）		ワークトップとキャビネットの固定用 （コーリアン人造大理石の場合）
TU固定金具		ワークトップとキャビネットの固定用 （反り調整用） ※コーリアン人造大理石は使用不可
トラスタッピンねじ 3.5×12[3.5×14]		ワークトップとキャビネット固定用 （コーリアン人造大理石の場合）

皿タッピンねじ 3.5×16		ワークトップとキャビネットの固定用 （コーリアン人造大理石のみ）
床固定L金具		開き扉のシンク キャビネット固定用
床固定Z金具		
ナベテクスねじ 4×16		床固定L金具固定用
トラスタッピンねじ3.5×30		対面コーナーキャビネット コーナーフィラー固定用
丸木ねじ 3.5×32		
トラスタッピンねじ 4×8		
皿木ねじ 4.5×27		
Hウワイタカナグ		
皿木ねじ 3.5×13		対面コーナーキャビネット 固定用
トラスタッピンねじ 3.5×20		
皿木ねじ 4.5×27		
トップ補強桟		センターキッチン・ テーブルタイプ補強用

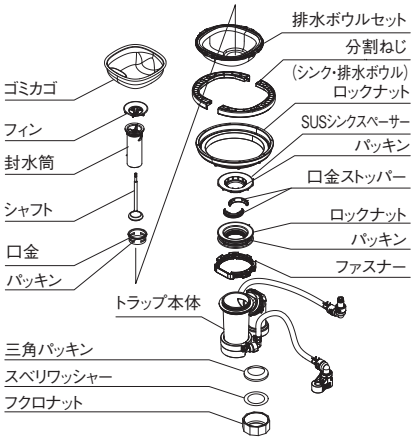
■排水セット部品

※ゴミ収納器付排水トラップは、シンクの種類により異なります。
※排水ホース・防湿キャップ・排水円板は別セットの為、含まれません。

ラクリーンシンク用排水セット部品（ひろびろラクリーンシンク・ラクリーンコンパクトシンク含む）

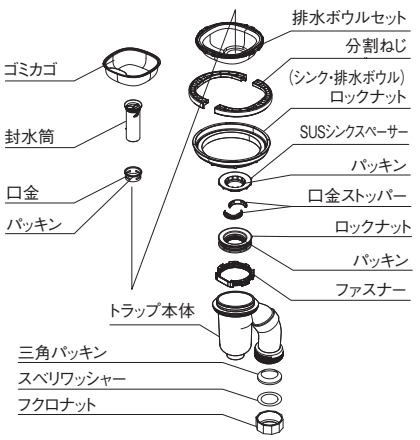
くるりん排水口タイプ

デュアルコート無	デュアルコート有
排水カップ	排水カップ（デュアルコート）



てまなし排水口タイプ

デュアルコート無	デュアルコート有
排水カップ	排水カップ（デュアルコート）

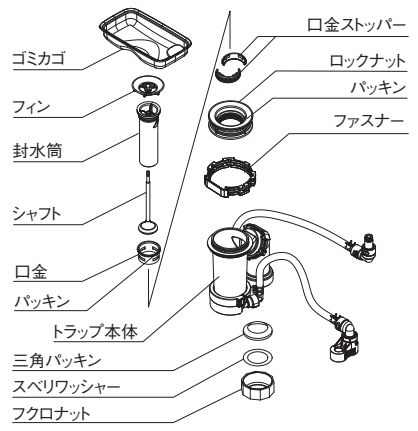


キレイシンク用排水セット部品（ひろびろキレイシンク含む）

くるりん排水口タイプ

バリアコートNEO無／有

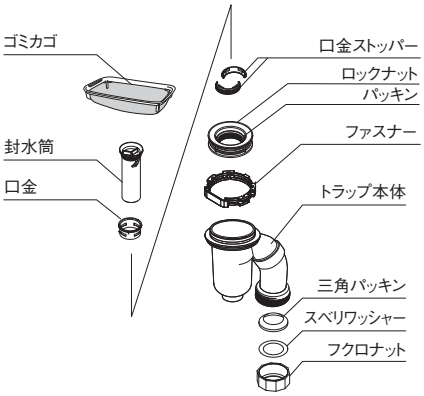
フタ有



てまなし排水口タイプ

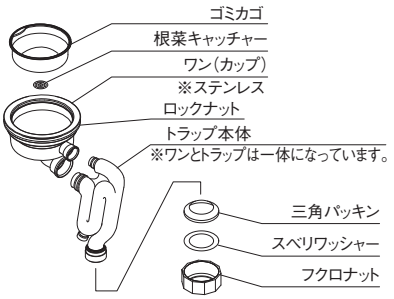
バリアコートNEO無／有

フタ無



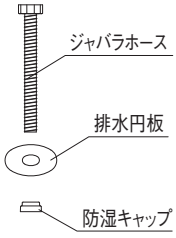
センターポケットシンク・ラウンド68シンク用 排水セット部品（ディスポーザーを設置しない場合）

デュアルコート無	デュアルコート有
排水カップ	排水カップ（デュアルコート）

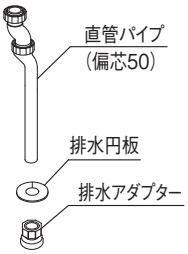


●別途手配

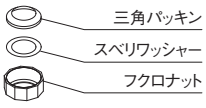
排水ジャバラホースセット



直管排水パイプセット



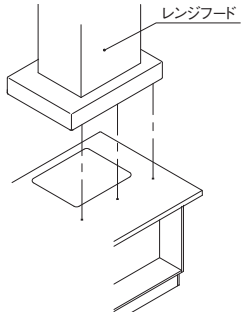
直管袋ナットセット



3 レンジフードの取付け

レンジフードを取り付けます。
レンジフードの取付方法については、別途レンジフード専用の設置説明書をご覧ください。

レンジフードとワークトップは「取付位置」の図を参考に設置基準から正しく位置決めしてください。
設置位置が正しくないとコンロ前全面ガラスが正しく取り付けられません。



※レンジフードは種類によって設置基準から位置が異なります。プランニングガイド等でレンジフードの種類ごとの位置を確認して位置決めしてください。

4 キャビネットの配置とキャビネットの連結

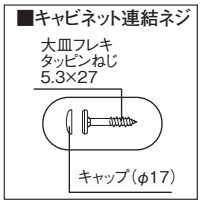
⚠注意 設置基準線はレイアウト図に従って、正しくけがく。

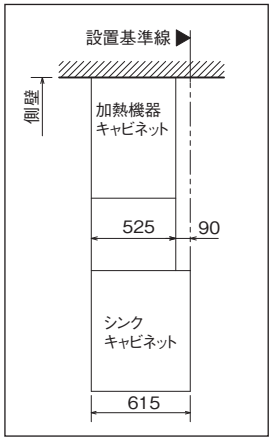
4-1.キャビネットの配置・連結

I型レイアウトの場合

●キッチン側キャビネットを配置します。
シンクキャビネットの背面のラインをけがき、それを基準に側壁側からキャビネットを並べて配置します。キッチン側のキャビネットは、全て配置し、キャビネット同梱のねじで連結します。続いて、キャップ(φ17)を取り付けてください。

※キャビネットの連結については「フロアユニット・ウォールユニット取付・設置説明書」を参照してください。



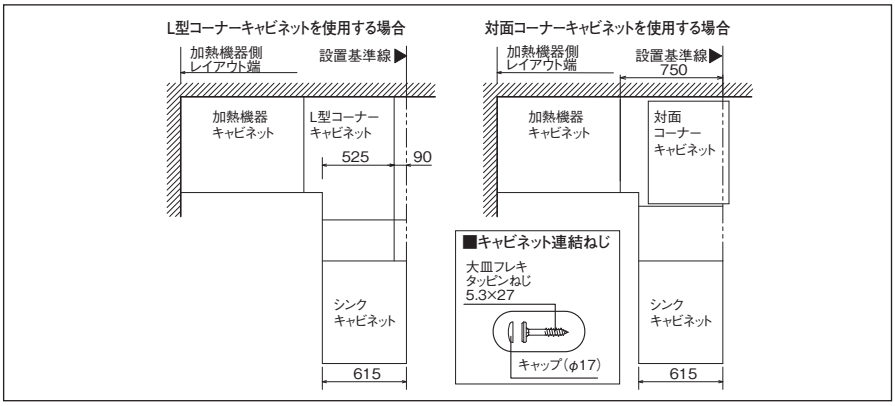


L型レイアウトの場合

●加熱機器側キャビネットを配置します。
加熱機器側キャビネットのレイアウト端からキャビネットを並べて配置します。L型コーナーキャビネットを使用する場合は、この時一緒に配置します。配置したキャビネットはキャビネット同梱のネジで連結します。続いて、キャップ(φ17)を取付けてください。

※キャビネットの連結については「フロアユニット・ウォールユニット取付・設置説明書」を参照してください。

※対面コーナーキャビネット・裏面収納キャビネットの配置・連結方法は「4.キャビネット設置に関する補足事項」を参照してください。



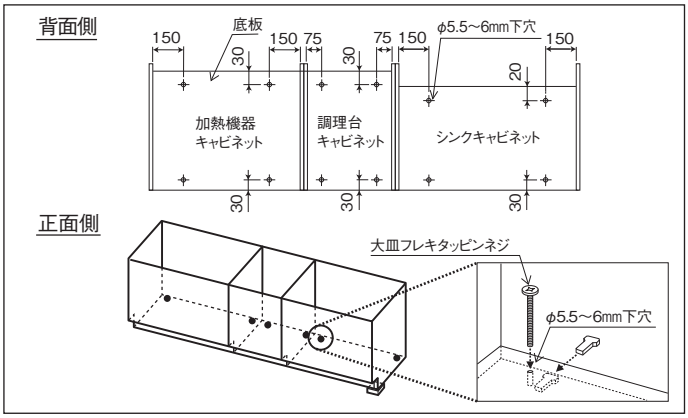
4-2.キャビネットの床固定

スライドストッカータイプの場合

⚠注意 キャビネットの床固定について

底板の背面側に床固定するときは、必ず調整スペーサーを入れる。
正しく固定されていない場合、製品が変形し破損するおそれがあります。

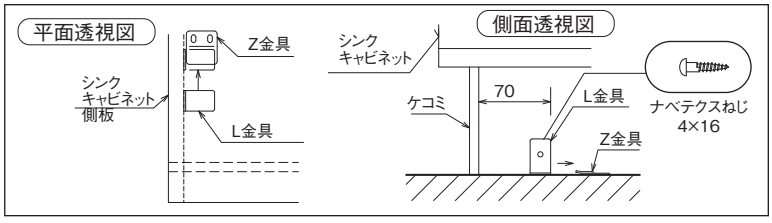
フロアキャビネットの底板にφ5.5～6mmの下穴(右図位置)を開けます。
背面側は穴の脇近くに調整スペーサー(5mm+不陸調整分)を床と底板の間に挟みます。
同梱の大皿フレキタッピンネジで正面側、背面側共に床面に固定します。
その時、スペーサーが床固定ねじと干渉しないように注意してください。

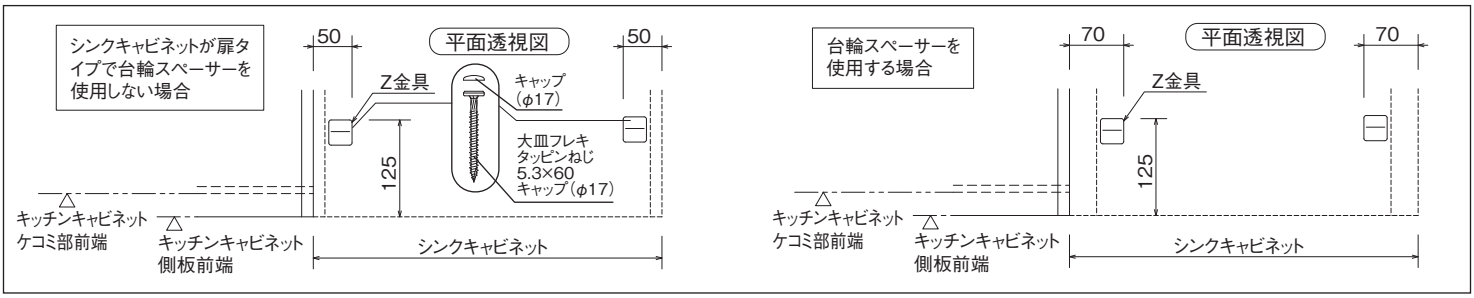


開き扉のシンクキャビネットまたは台輪スペーサーを使用する場合

①Z金具を床に固定します。
ワークトップ同梱のZ金具をワークトップ同梱のネジで右図の通り固定します。
②L金具をキャビネット(台輪スペーサー)に取り付けます。
ワークトップ同梱のネジで、下図の通り固定します。
③金具同士をかみ合わせます。
シンクキャビネットを少し手前から滑らせるようにして、Z金具とL金具を噛み合わせます。

⚠注意
正しく固定されていない場合、製品が変形し破損するおそれがあります。

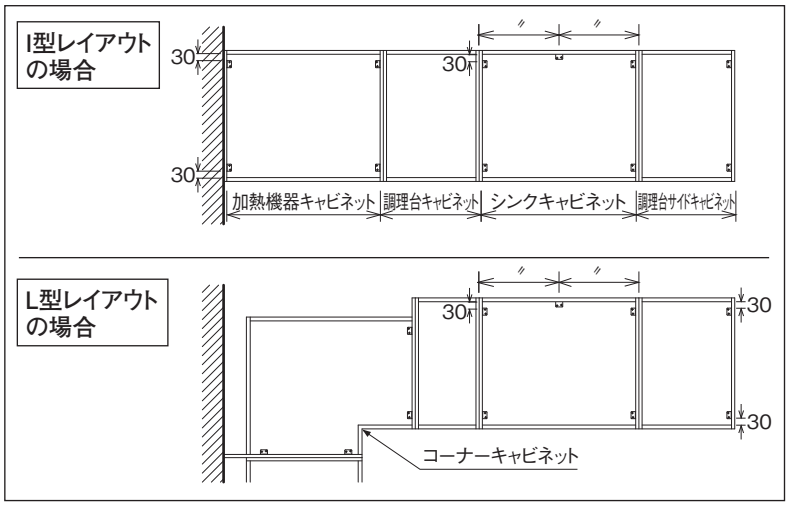




4-3.ワークトップ固定用金具の取付け

［人造大理石の場合］

キャビネットとワークトップを固定する金具を取り付けます。
ワークトップ同梱のL金具をシンクキャビネット、加熱機器キャビネット、レイアウトエンドのキャビネットにそれぞれ右図の通りワークトップ同梱のねじで取り付けます。
※ワークトップ用固定金具の取付けについては「フロアユニット・ウォールユニット取付・設置説明書」を参照してください。



⚠ 注意

ガス抜き開口部に突き出してしまう場合や、プラスドライバーが入らない場合は、隣接するキャビネットに金具をつける。
加熱機器などが取付・設置できないおそれがあります。

5 キャビネット設置に関する補足事項

■対面コーナーキャビネットの設置

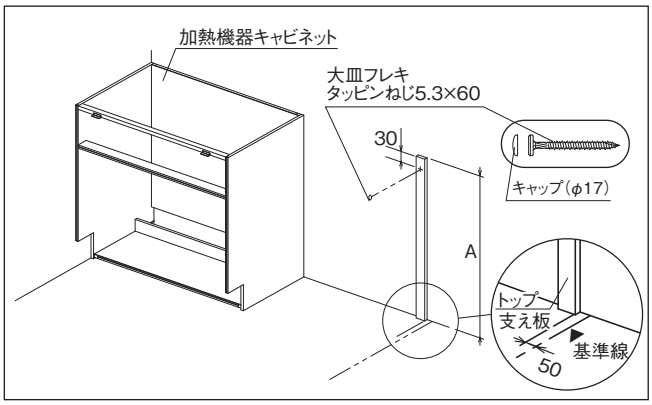
他のキャビネット床固定前

①サイドパネルをカットします。
サイドパネルとプレートフィラーに同梱されているフィラー、トップ支え板を右表のA寸法に従ってカットしてください。

②トップ支え板を取り付けます。
φ5の下穴を開けて、ワークトップに同梱のねじで壁面に固定します。

トップ支え板カット寸法
サイドパネルカット寸法

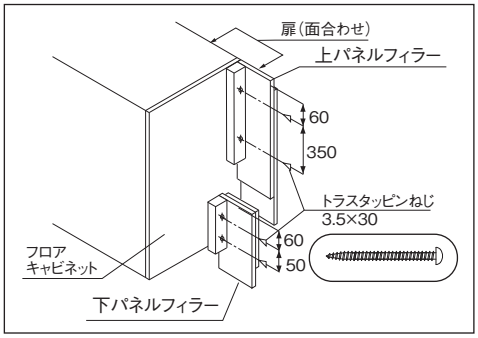
ワークトップ高さ	A
875	853
850	828
825	803
800	778



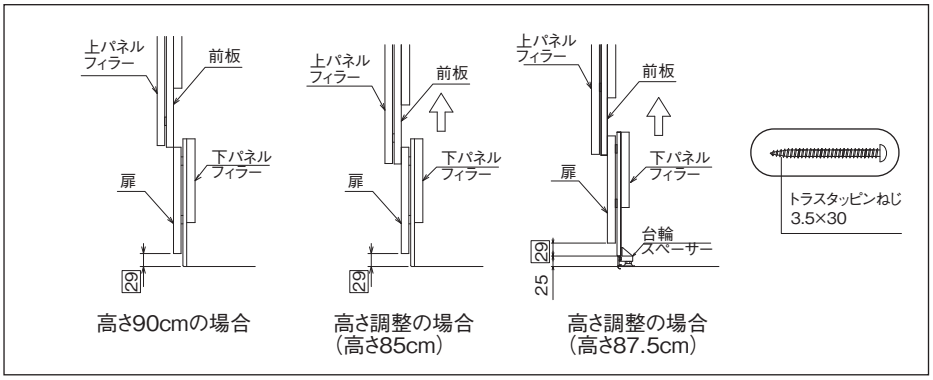
⚠注意 トップ支え板は、基準線から50mm以下の位置にならないようにする。

③コーナーフィラーを取り付けます。
フィラーは上パネルフィラー、下パネルフィラーの分割になっています。
上下ともにパネルフィラーのカットの必要はありません。

③-1 上パネルフィラーを取り付けます。
上パネルフィラーをフロアキャビネットの扉前面および上面に合わせ、両側のキャビネットそれぞれにコーナーフィラー同梱のねじで固定してください。

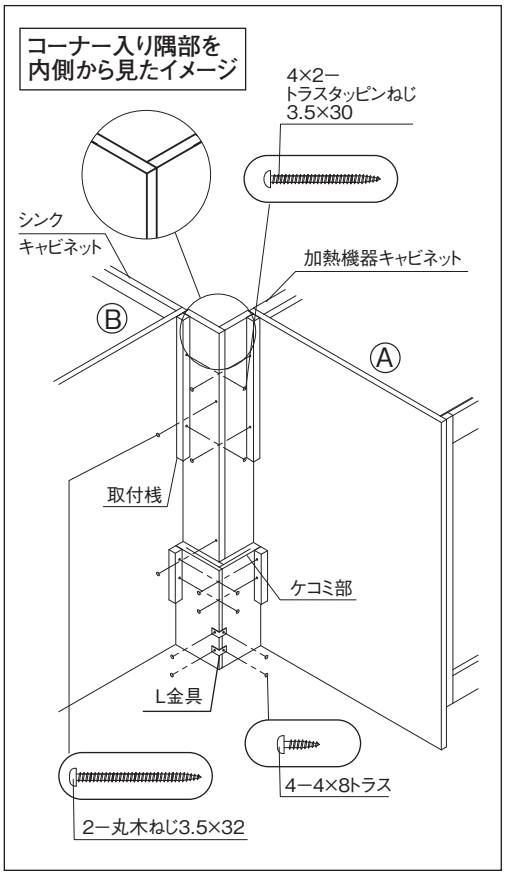


③-2 下パネルフィラーを取り付けます。
下パネルフィラー扉前面を下パネルフィラーの後面に合わせ、床から29mmあけてキャビネットにコーナーフィラー同梱のねじで固定します。
但し、台輪スペーサーのある場合はさらに25mmあけてください。

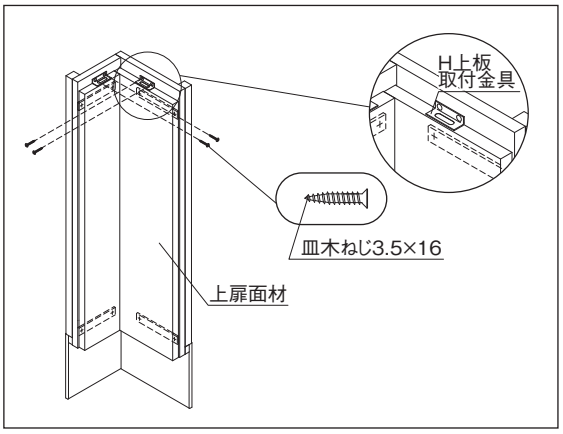


⚠注意 上パネルフィラーと下パネルフィラーを追加してねじ固定する場合は、ねじ先が突き出さないように固定する。

④コーナーフィラー同士を連結します。
キャビネットに固定されたフィラー同士をコーナーフィラー同梱のねじおよびL金具にて連結します。

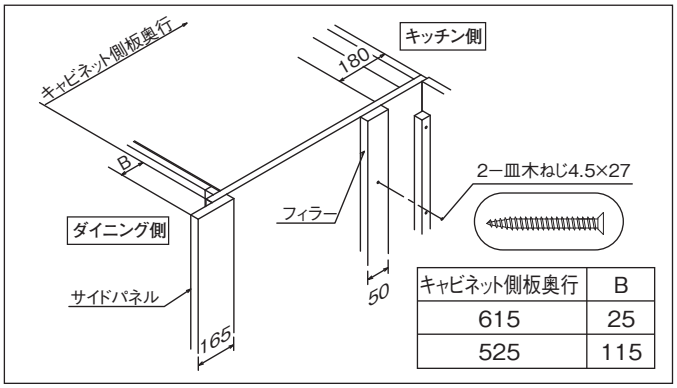


⑤コーナーフィラーに「H上板取付金具」を取り付けます。コーナーフィラー組立後、コーナーフィラー同梱の「H上板取付金具」をコーナーフィラーにある下穴に取り付けます。(2カ所)



⑥サイドパネルとフィラーを取り付けます。(※収納タイプの場合は必要ありません)プレートフィラー同梱のねじでサイドパネルは右図の通り取り付けてください。
取り付けるキャビネットの奥行によって位置が異なります。

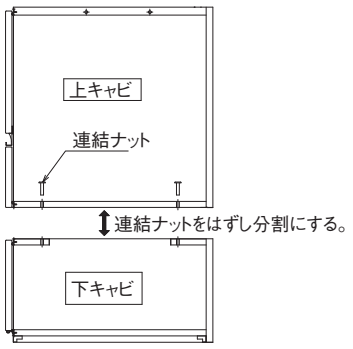
⚠注意 取り付ける際、ねじの頭が突き出ないようにする。

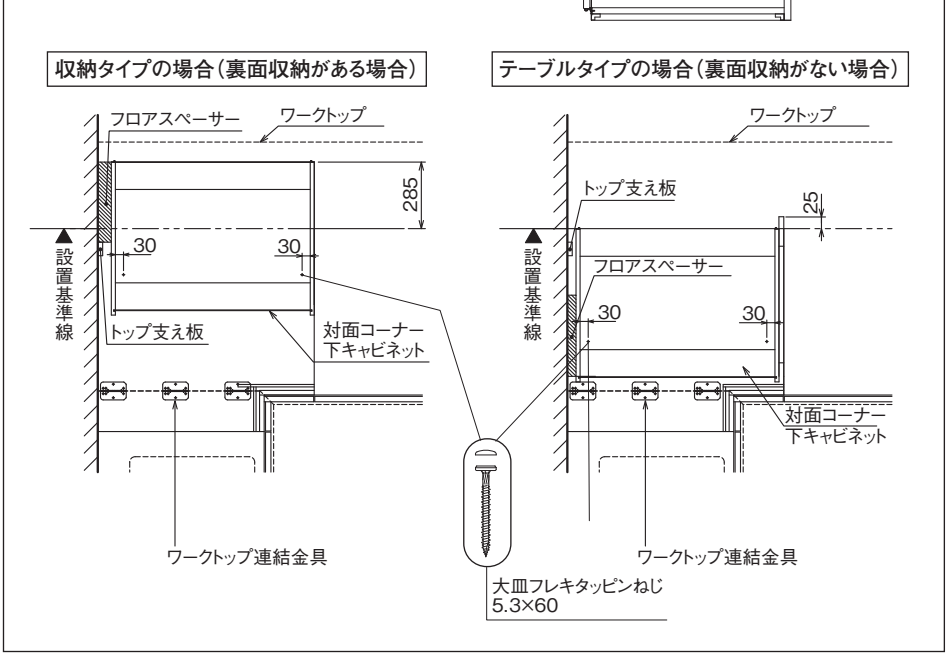


キャビネット側板奥行	B
615	25
525	115

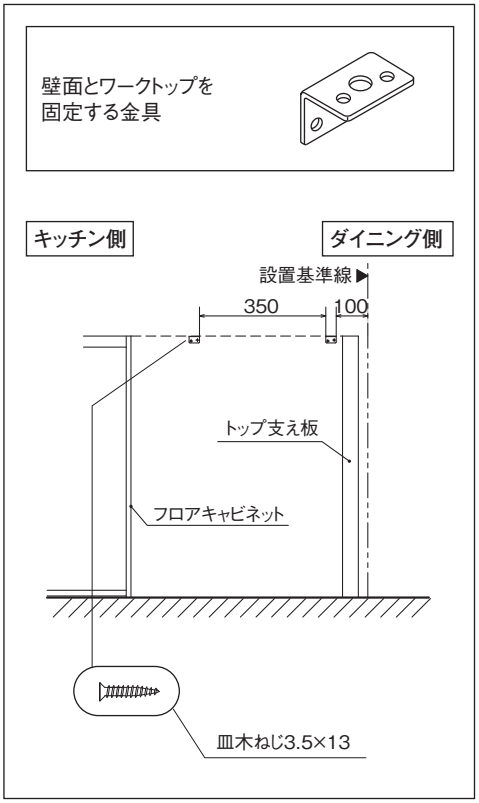
他のキャビネット床固定後

⑦対面コーナーキャビネットの下キャビネットを設置します。
対面コーナーキャビネットは、上キャビネットと下キャビネットが分割式になっていますので連結ナットを外し、下キャビネットのみ下図の通り設置します。
このとき、フロアスペーサーを図の位置に置いて壁と対面コーナー下キャビネットではさんでください。
下キャビネットの底板にφ5の下穴をあけてキャビネット同梱のネジで固定します。





⑧壁面とワークトップを固定する金具を取り付けます。対面コーナーキャビネット同梱の金具を下図の寸法に従い、同梱のネジで金具を取り付けます。

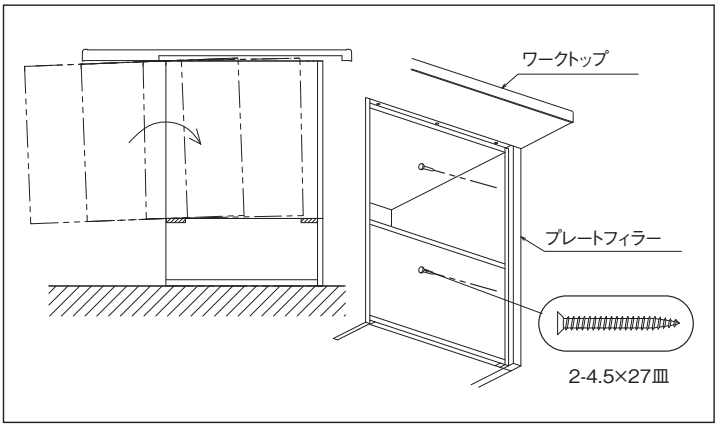


ワークトップの取付け後

⑨対面コーナーキャビネットの上キャビネットを差し込みます。
下キャビネットの上を滑らせるようにワークトップと下キャビネットの間に上キャビネットを差し込みます。

⑩上キャビネットと下キャビネットを固定します。
分離した際に、外した連結ナットで再度固定します。

⑪プレートフィラーを取り付けます。
対面コーナーキャビネットの内側からプレートフィラー同梱のねじでプレートフィラーを固定します。

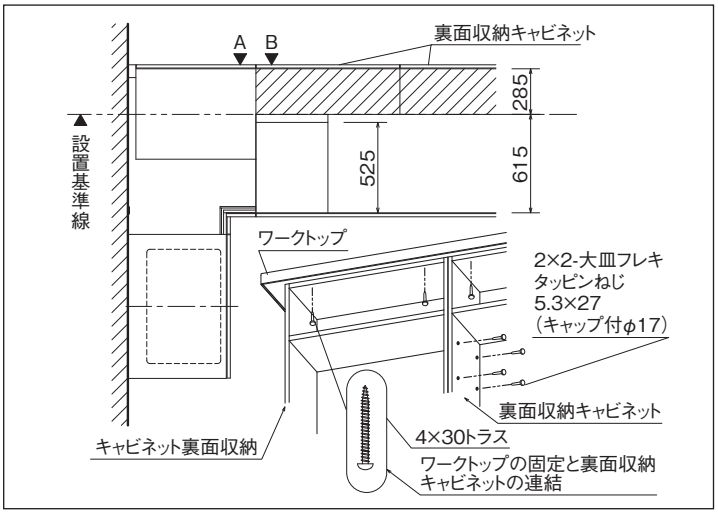


■裏面収納キャビネットの設置

対面コーナーキャビネット設置後

●裏面収納キャビネットを配置します。
ワークトップの下側に裏面収納キャビネットを配置します。位置は下図の通り、シンクキャビネットの背面ラインを基準に平行に並べます。

下図中のA・Bの扉前面位置が合うようにしてください。



■裏面収納キャビネット(ハーフ収納タイプ)の設置

裏面収納キャビネット(ハーフ収納タイプ)両脇にサイドパネルを設置します。

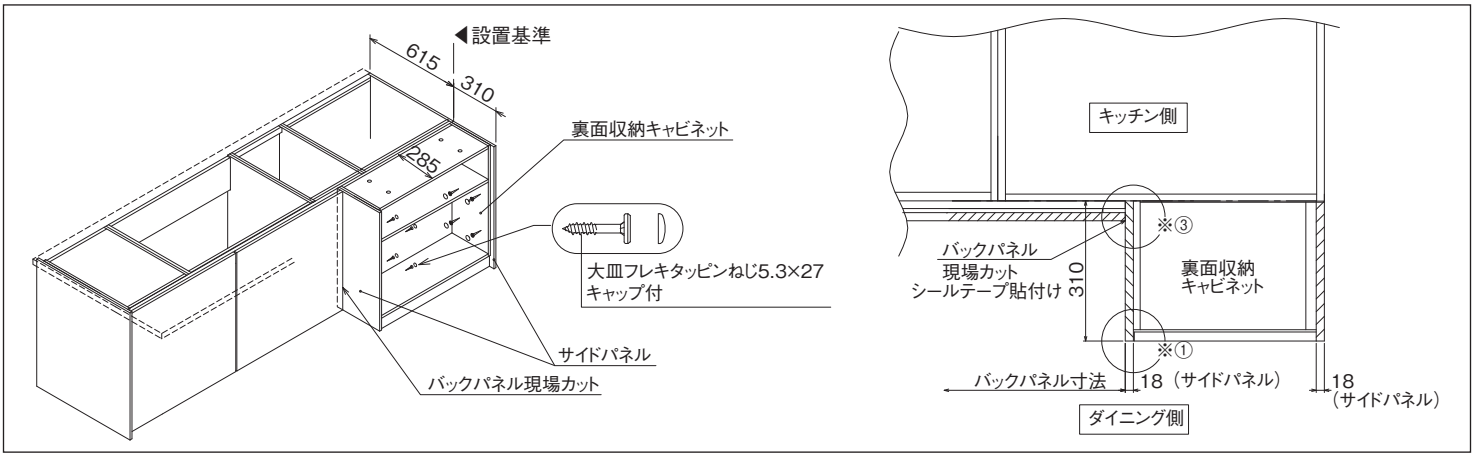
※①納入時はパネル高さが860ですので、ワークトップ高さにより右表の寸法でのカットが必要になります。ワークトップ高さが900の時はそのまま使用します。カットした面は下にして取り付けてください。サイドパネルは扉面に合わせます。

②サイドパネルは、キャビネット内側よりキャビネット同梱のねじで固定します。

※③サイドパネルに接するバックパネルは、現場にてカットし、カット面はバックパネル同梱のシールテープ(グレー色)を貼ってください。

ワークトップ高さ	パネル高さ
875	835
850	810
825	785
800	760

ワークトップ高さ900の時は、カットの必要はありません



■裏面収納キャビネット(収納・引戸タイプ)の設置

●裏面収納キャビネット(収納・引戸タイプ)を設置します。
奥行きが長い方の側板が合わさるように2台の裏面収納キャビネットを並べます。短い方の側板がサイドパネル側にきます。

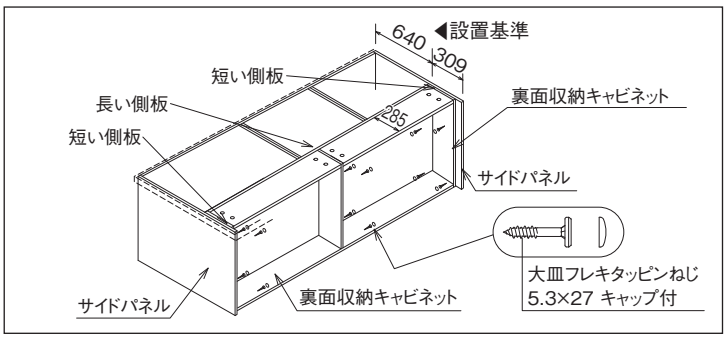
●裏面収納キャビネット同士の固定は、片方のキャビネットの内側より同梱のねじで固定します。

●裏面収納キャビネットの両脇にサイドパネルを設置します。

①納入時はパネル高さが860ですので、ワークトップ高さによりカットが必要になります。ワークトップ高さが900の時はそのまま使用します。カットした面は下にして取り付けてください。サイドパネルは扉面に合わせます。

②カットした面に同梱の木口テープを貼ります。

③エンドパネルは、キャビネット内側よりキャビネット同梱のねじで固定します。

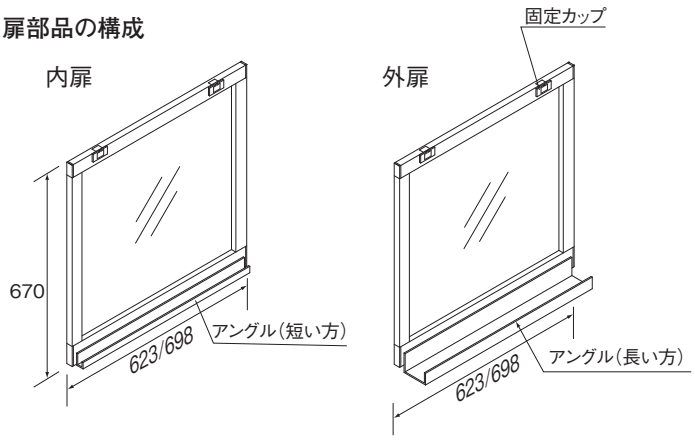


ワークトップ高さ	パネル高さ
875	835
850	810
825	785
800	760

ワークトップ高さ900の時は、カットの必要はありません

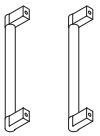
●裏面収納キャビネットに引戸扉を取り付けます。

扉部品の構成



同梱部材

取手：2個

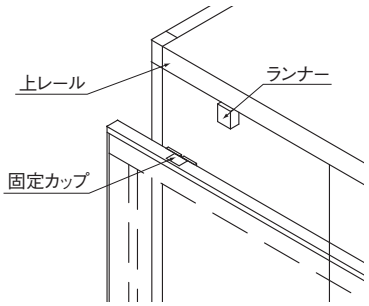


戸当り：2個

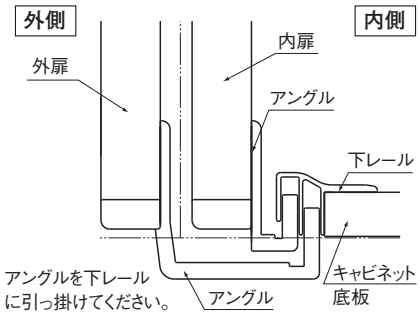
取手取付ねじ：4本

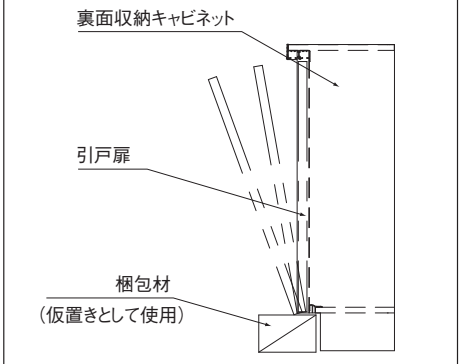
戸当り取付ねじ：4本

①内扉下部のアングルをキャビネットの下レールに引っ掛け、内扉上部の固定カップとキャビネット上レールの奥側のランナーとの位置を合わせ、カチッと音がするまで内扉を押し込んでください。
このとき、けこみ部分の梱包材を図のように仮置き台として使用します。



■引戸吊戸棚下部詳細図



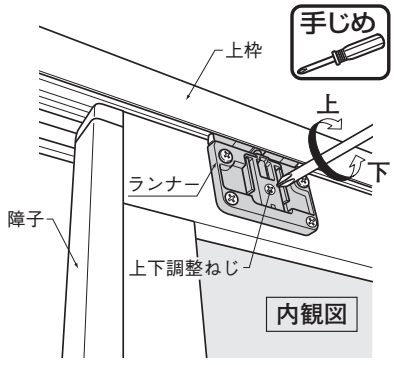


②外扉下部のアングルをキャビネットの下レールに引っ掛け、外扉上部の固定カップとキャビネット上レールの手前側のランナーとの位置を合わせ、カチッと音がするまで外扉を押し込んでください。
内扉と同様にけこみ部分の梱包材を仮置き台として使用します。

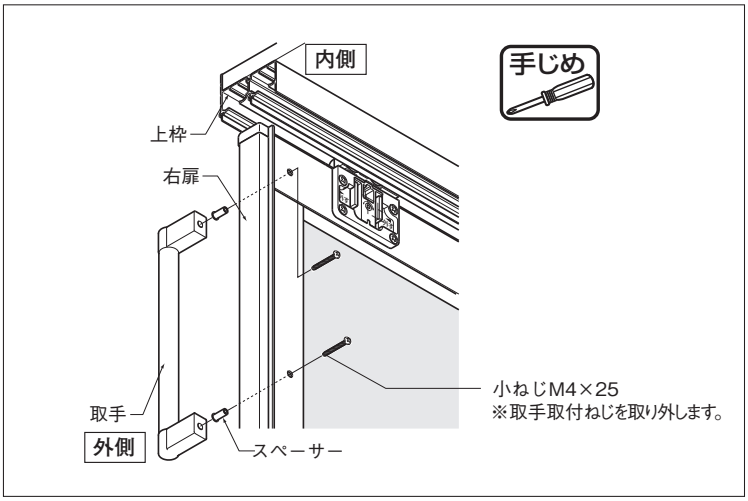
③扉の上下調整を行います。

扉を上げたい場合:上下調整ネジを右に回してください。
扉を下げたい場合:上下調整ネジを左に回してください。

扉とキャビネットのレールとのチリを
4mmに調整してください。



④同梱の取手を取付ビスにて取り付けます。



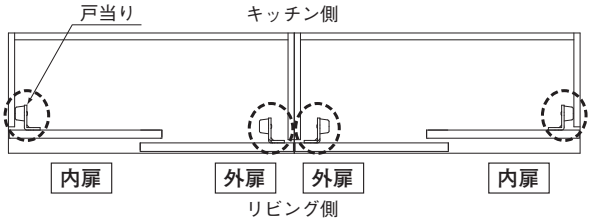
⚠注意

スペーサーが外れていないことを確認してください。
スペーサーがないと扉開閉時の力でガラスが割れるおそれがあります。

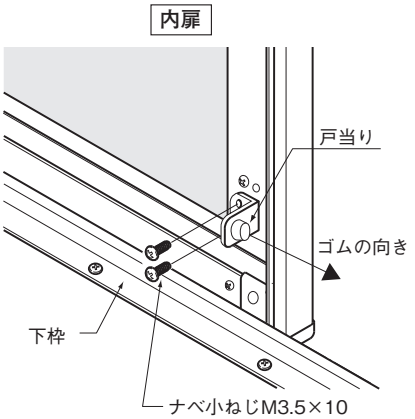
⑤同梱の戸当りを取付ビスにて取り付けます。

⚠注意

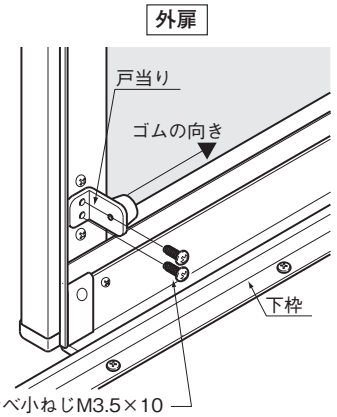
戸当りが正しく取り付けられていないと、扉が取手やエンドパネルにはげしく当たり、傷つけてしまうおそれがあります。



※戸当りの大きさは実際よりも大きく表記しております。



内扉は扉の外側に戸当りのゴムを向けて取付け



外扉は扉の内側に戸当りのゴムを向けて取付け

6 ワークトップの取付け

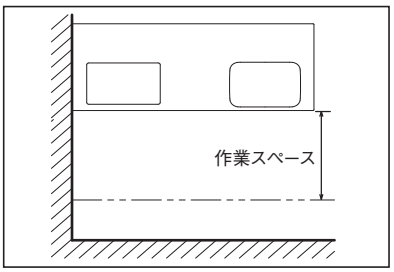
⚠注意

●ラクリーンシンクのワークトップについては、シンクに排水ボウルセット・排水トラップを取り付けてからキャビネットにワークトップを取り付けてください。

・ラクリーンシンクの排水セット部品の取付けについては、「フロアユニット・ウォールユニット取付・設置説明書」の「11.排水部品の取付け」をご覧ください。

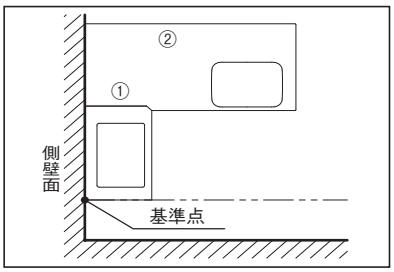
I型レイアウトの場合

レイアウト上の作業スペースが、設置図面通りに確保できているか確認し側壁面に押しつけます。



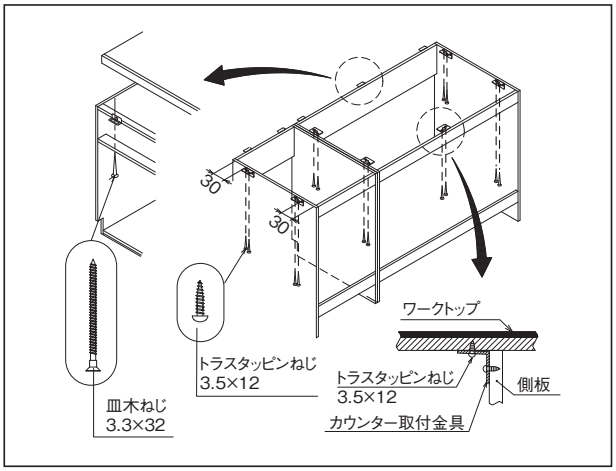
L型レイアウトの場合

右図上の基準点に押しつけるようにワークトップ加熱機器側をのせます。



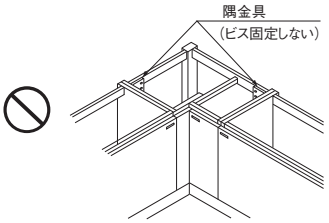
6-1.人造大理石の場合

ワークトップとキャビネットの固定は、あらかじめキャビネットに取り付けた金具をワークトップ同梱のねじで固定します。キャビネット前面に付いている金具はワークトップ同梱のねじで固定します。
※固定後、ワークトップの水平を確認してください。水平が出ていない場合は、ワークトップ取付金具の間にスペーサーを入れ、調整してください。



⚠注意

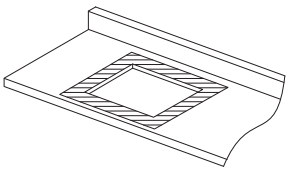
**ワークトップとコーナーキャビネットを固定する際は、隅金具からねじを打たない。
ねじがワークトップに干渉して割れるおそれがあります。**



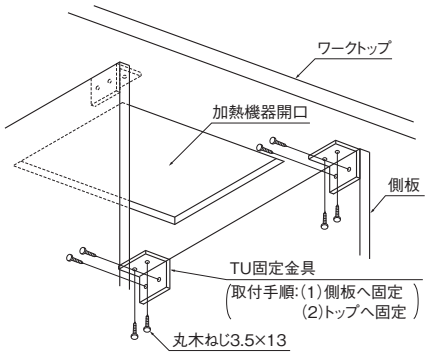
6-2.加熱機器開口まわりの場合

●水漏れを防止するためワークトップをのせた後、加熱機器開口まわり（図-1斜線部）の反りが1mm以内であるかご確認ください。
●1mmを越える反りがある場合
ワークトップ同梱のTU固定金具を図-2のように取り付けて反りを矯正してください。TU固定金具を取り付ける際、トップ裏側に裏打ち材がない場合は木片等（厚さ:ステンレストップの場合20mm、人大トップの場合15mm）を貼り付けてください。
●反り凹凸の調整
・凹方向の反りの場合
L金具で両サイドを引張り調整します。（図-3）
・凸方向の反りの場合
L金具で中央部を引張り調整します。（図-4）

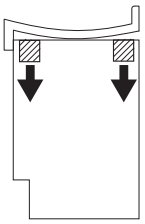
図−1



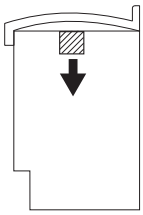
図−2（図−3の場合の金具取付の例）



図−3



図−4

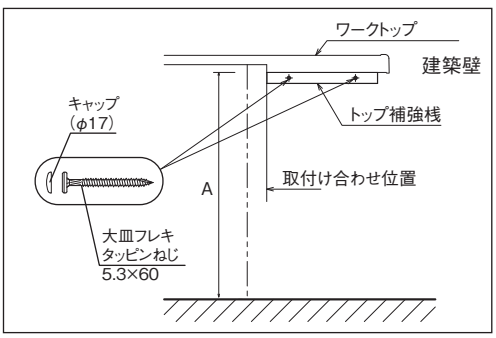


7 ワークトップの取付けに関する補足事項

■テーブルタイプの場合

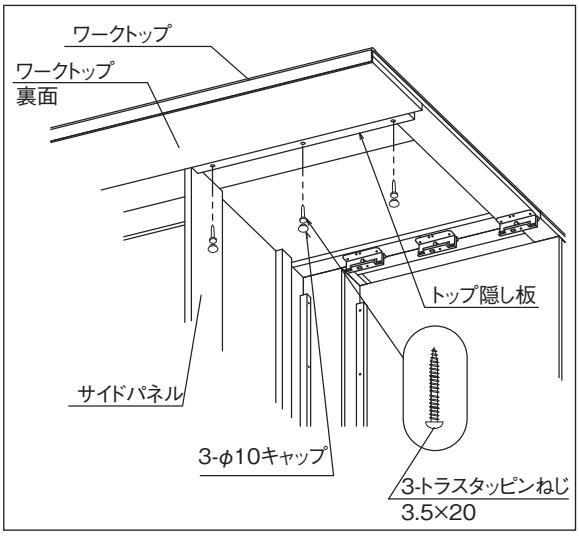
トップ補強桟を取り付けます。
ワークトップに同梱されているトップ補強桟を下図に従ってワークトップ同梱のねじで壁面に取り付けてください。
続いてキャップ（φ17）を取り付けてください。

ワークトップ高さ	A
900	860
875	835
850	810
825	785
800	760



■対面コーナーキャビネットのトップの連結（L型レイアウト）

①接合部を連結します。
ワークトップに同梱されている連結ボルトを用い、ワークトップ同士を連結します。
「フロアユニット・ウォールユニット取付・設置説明書のL型ワークトップの連結と研磨手順」に従ってください。
②接合部分を接着します。
ワークトップに同梱されている接着剤で接合部を接着します。
「フロアユニット・ウォールユニット取付・設置説明書のL型ワークトップの連結と研磨手順」に従ってください。
③トップ隠し板を取り付けます。
対面コーナーキャビネットに同梱されているトップ隠し板をキャビネットに取付けたサイドパネルに突き当てるようにワークトップの裏面にキャビネット同梱のねじで取り付けます。



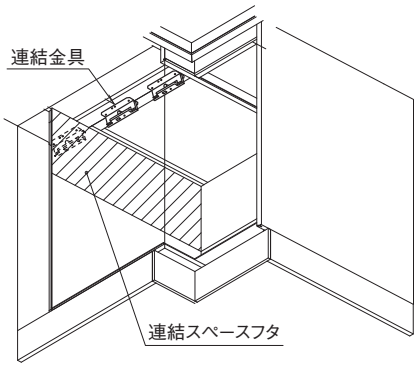
■L型のコーナーキャビネットのトップの連結（L型レイアウト）

①連結スペースを開きます。
コーナーキャビネットの内側からトップ連結金具が見えるように、連結スペースのフタを外してください。
※外したフタとねじは、連結が終わった後で、元に戻します。

②接合部を連結します。
ワークトップに同梱されている連結ボルトを用い、ワークトップ同士を連結します。
「フロアユニット・ウォールユニット取付・設置説明書のL型ワークトップの連結と研磨手順」に従ってください。

③接合部を接着します。
加熱機器側のワークトップに入っている接着剤で接合部を接着します。「フロアユニット・ウォールユニット取付・設置説明書のL型ワークトップの連結と研磨手順」に従ってください。

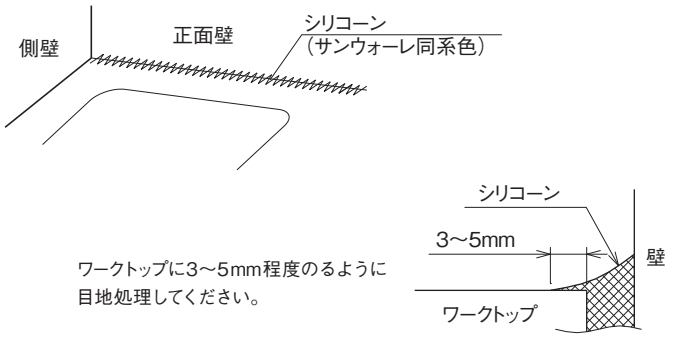
コーナーキャビネットを内側から見た図



■後付けバックガードの取付け

①ワークトップと壁面の間をシリコーン（サンウォーレ同系色）塗布します。

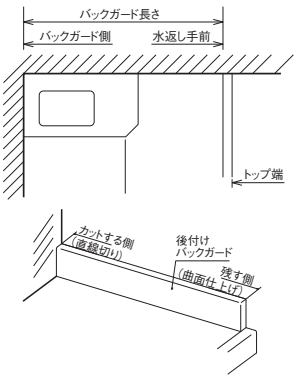
⚠注意 ワークトップ上面にはみ出したシリコーンはきれいに拭き取る。シリコーンが残っていると、後付けバックガードが貼り付かないことがあります。



②後付けバックガードをカットします。
下図を参考にしてレイアウトの壁に面する側をカットしてください。

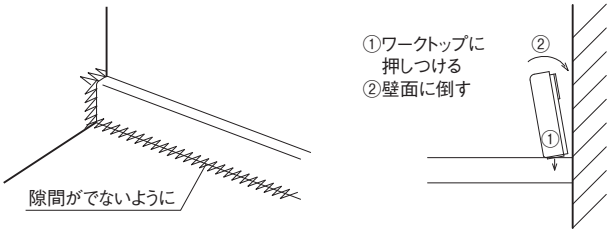
⚠注意 カットする長さはワークトップの水返しの手前の位置に合わせカットする。

コーリアン人造大理石の場合



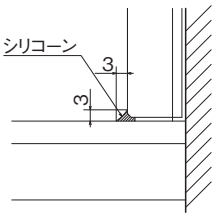
③後付けバックガードについている両面テープのはくり紙をはがし、下図の手順で貼り付けます。

⚠注意 ワークトップとの隙間が極力でないよう貼り付ける。両面テープは強力ですので、貼り直しは困難になります。

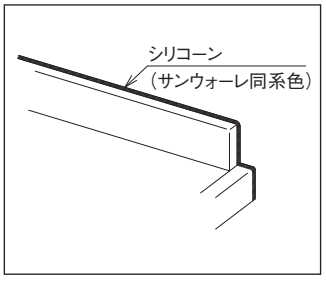


④ワークトップとバックガードの継ぎ目をシリコーン塗布します。

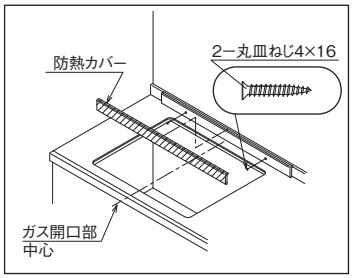
人大カラー	シリコーン色
シンプルホワイト	ホワイト
シルフィーホワイト	ホワイト
シルフィーベージュ	ベージュ
シルフィーグレー	ホワイト
グラニットホワイト	ホワイト
グラニットベージュ	ベージュ
グラニットグレー	ホワイト
ディオホワイト	ホワイト
ディオベージュ	ベージュ
ディオグレー	ホワイト
カメオホワイト	ホワイト
アンタークティカ	ホワイト
ペパーアイボリー	ベージュ
ココアブラウン	ブラック
ライスペーパー	ホワイト



⑤バックガードと壁面をシリコーン（サンウォーレ同系色）塗布します。

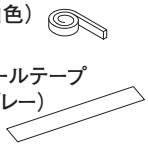
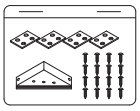


⑥ガス抜き開口部の中心に合わせて、防熱カバーをねじでバックガードに取り付けます。
防熱カバーとねじは、ワークトップに同梱されています。

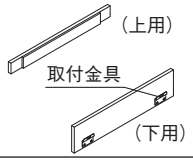
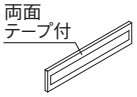


8 バックパネルの取付け（バックパネルのあるタイプの場合）

■バックパネル同梱品

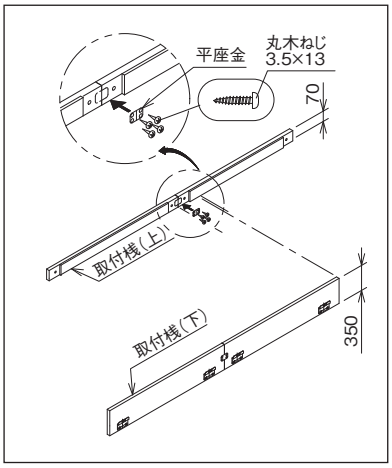
①クッションテープ（白色）
②シールテープ（グレー）

③取付桟（上・下）取付用ビスセット

・平座金:4枚
・三角金具:4枚
・丸木ねじ3.5×13:28本
2袋
④取付桟（上・下）取付用ビスセット

・皿タッピングねじ 3.5×30:6本
⑤バックパネル押えプレート取付用ビスセット

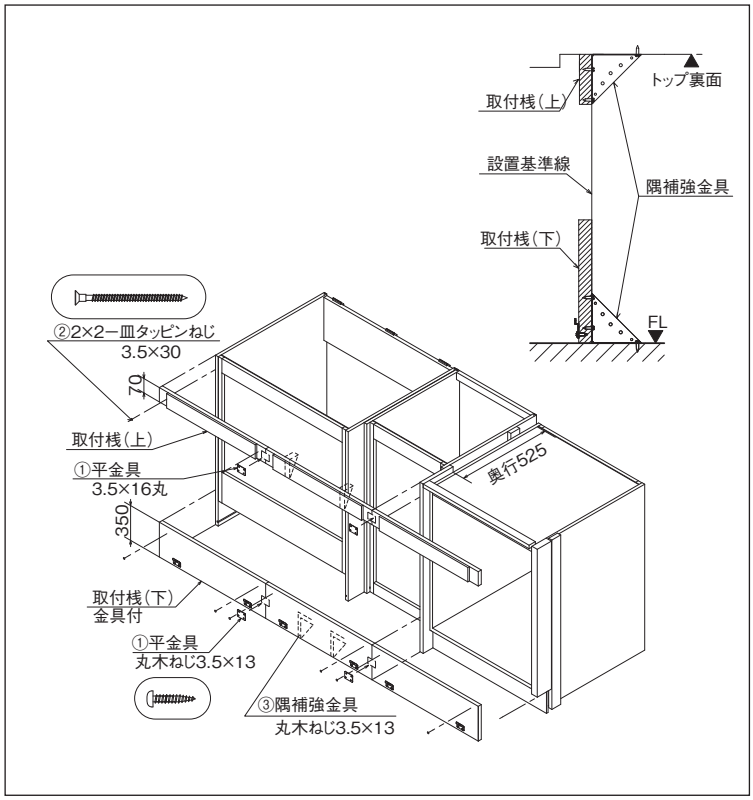
・皿木ねじ3.5×13:6本
⑥取付桟（上・下）

（上用）
取付金具
（下用）
⑦キャビネット取付桟

両面テープ付

7-1.取付桟の取付け

①取付桟を連結します。
取付桟はバックパネルと同じ間口に分割されています。バックパネルに同梱の平金具とねじで連結してください。



②取付桟を固定します。
シンクキャビネットの背板に取付桟をバックパネル同梱のねじで固定します。
③取付桟を補強します。
奥行525のキャビネットの部分をワークトップ裏面及び床面にバックパネル同梱の隅補強金具とねじで上下2カ所ずつ均等に固定します。
※取付桟は基準線と平行になるように取り付けてください。



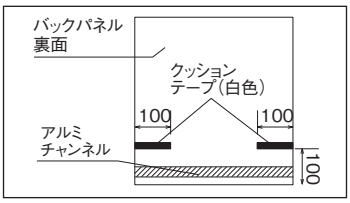
7-2.バックパネルの取付け

①バックパネルをカットします。
バックパネルの右表に従って高さを合わせます。ワークトップ高さ900の時はカットの必要ありません。次に間口を合わせます。間口はバックパネルの収まる範囲に合わせ、一番壁側に近いパネルをカットします。
※パネル間口がキャビネット間口と同じ場合はカットの必要はありません。

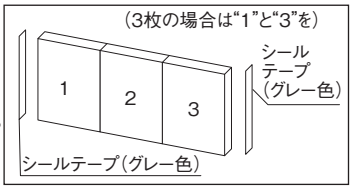
バックパネルカット高さ

ワークトップ高さ	パネル高さ
875	835
850	810
825	785
800	760

②クッションテープを貼ります。
右図の通り、バックパネル裏面に発泡ゴムのクッションテープ（白色）を貼ります。
※丁寧に離型紙をはがしてから貼りつけてください。



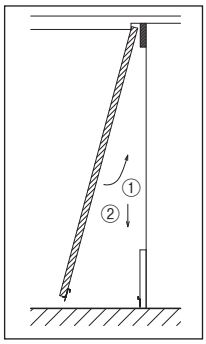
③シールテープを貼ります。
レイアウトの両端に取り付けるバックパネルの木口面にシールテープ（グレー色）を貼ります。



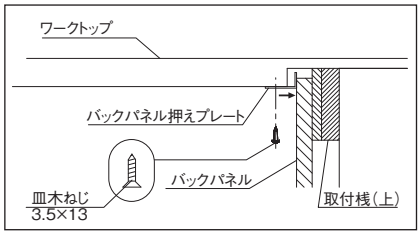
④バックパネルを取り付けます。
ワークトップと取付桟の隙間にパネルの上端を差し込み、下側の取付桟の金具に差し込みます。

⚠注意

バックパネルの金具と、取付桟の金具がしっかりかみ合っていることを確認する。



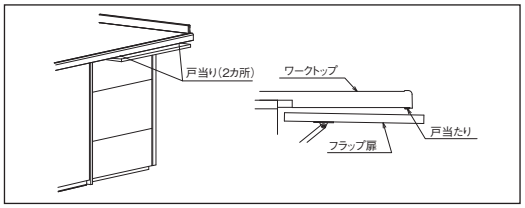
⑤バックパネル上端を押えます。
バックパネル押えプレートをバックパネルに押し付けるようにして、ワークトップの裏面へ、バックパネル同梱のねじで取り付けます。



⚠注意

カウンター用支持金具を取り付ける場合は、バックパネル押えプレートは現場にてカットする。カット方法については、カウンター用支持金具の取付けをご覧ください。

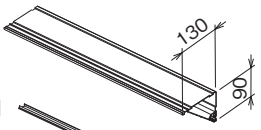
⑥戸当たりの取付け
（※対面コーナーキャビネットを使用する場合）
対面コーナーキャビネットのフラップ扉が開いた時にワークトップの裏面に当たることがあります。
キャビネットに同梱の戸当たり（クリア）をワークトップの裏面に貼ってください。



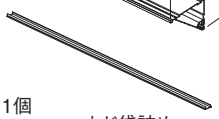
9 カウンター用支持金具の取付け

同梱部材

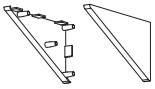
支持金具:1個



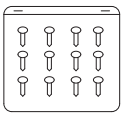
ビスカバー:1個



エンドキャップL:1個
エンドキャップR:1個



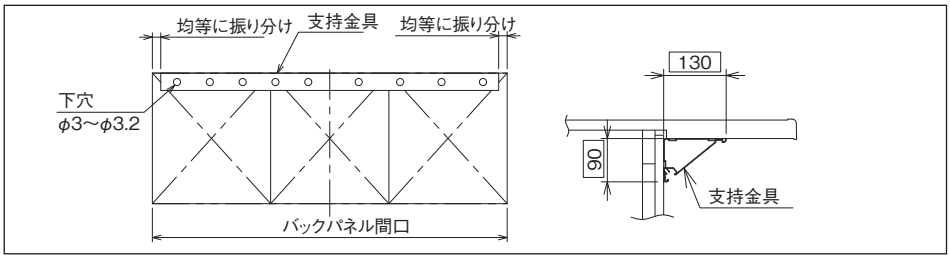
ねじ袋詰め



トラスタッピンねじ4×20SUS

9-1.カウンター用支持金具の設置

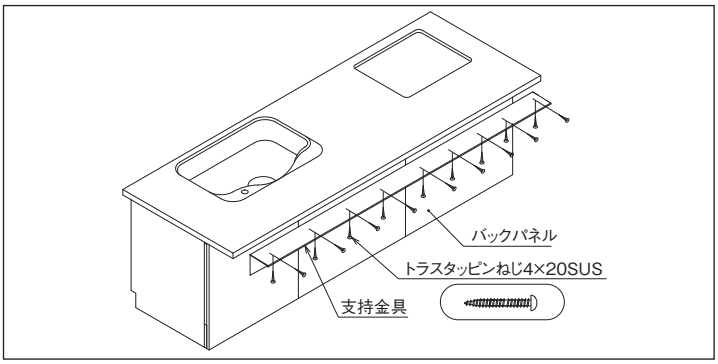
支持金具がバックパネルのセンター位置にくる様に左右を調整し、支持金具を設置して、支持金具のビス穴にあわせてバックパネルおよびワークトップ裏面にφ3～φ3.2の下穴をあけてください。



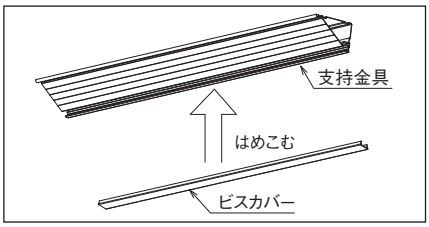
⚠注意 支持金具取付の際は上図の向きで取り付けてください。

9-2.カウンター用支持金具の取付け

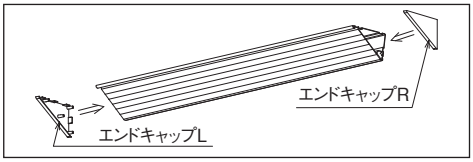
①カウンター支持金具同梱のねじで固定してください。



②本体を取り付けたらビスカバーを取り付けてください。

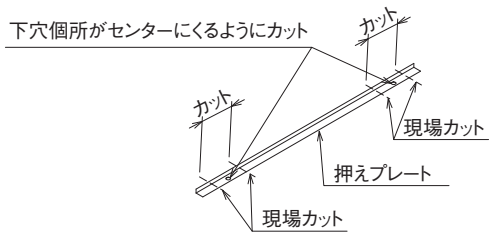


③左右のエンドキャップをはめこんでください。

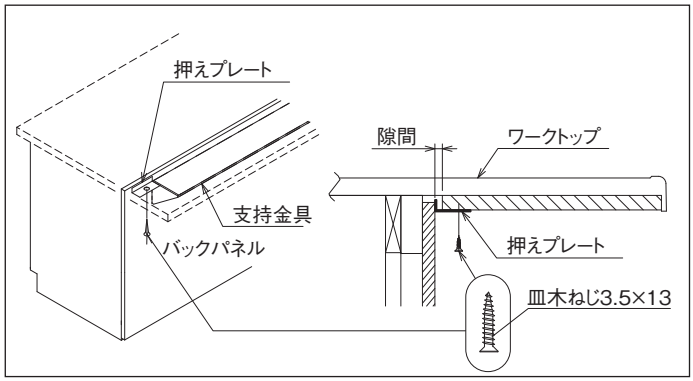


9-3.押えプレートの取付け

①バックパネル間口に対して支持金具が短いため、支持金具両側のワークトップとバックパネルの間に隙間が見えてしまいます。そのためバックパネル同梱の押えプレートを現場にてカットして隙間部分をふさぎます。
押えプレートは下穴箇所がセンターにくるように現場にてカットしてください。
カット面は必ずサンドペーパーでバリが出ないように面取りしてください。



②カットした押えプレートをバックパネルに押し付けるようにしてワークトップ裏面へバックパネル同梱のねじで取り付けてください。

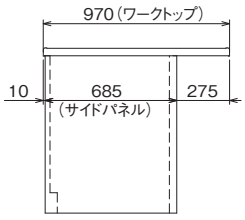


10 サイドパネルの取付け

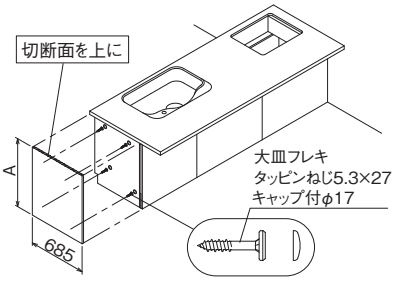
①納入時はパネル高さが860ですので、ワークトップ高さによりカットが必要となります。
ワークトップ高さが900の時はそのまま使用します。カットした面は上にして取り付けてください。
②サイドパネルはキャビネット内側よりサイドパネル同梱のねじで固定します。

ワークトップ高さ	A
875	835
850	810
825	785
800	760

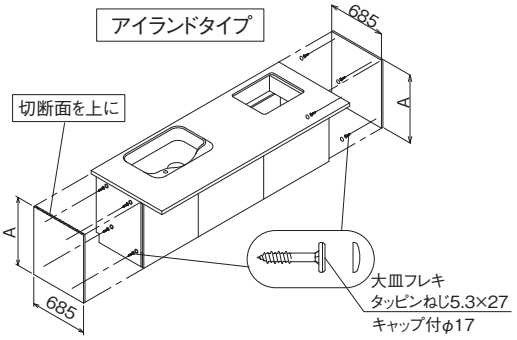
ワークトップ高さ900のときはカットの必要はありません



ペニンシュラタイプ



アイランドタイプ

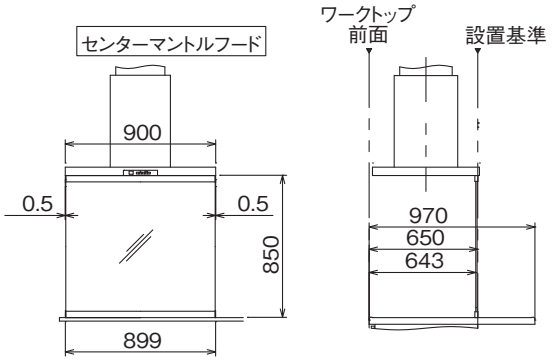


11 コンロ前全面ガラスの取付け

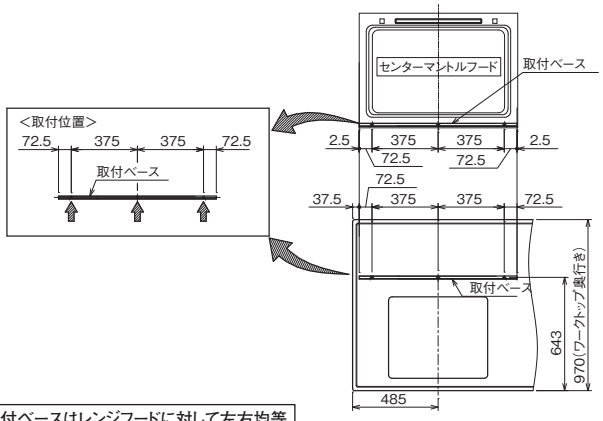
⚠注意 センターキッチン・対面キッチン用の レンジフードの機種により納まり寸法 は異なるので、ガイドまたは、設備レイアウト図を参照してください。

アイランドタイプの場合

コンロ前全面ガラスは左右均等に振り分けて設置してください。



レンジフードを下から見た図

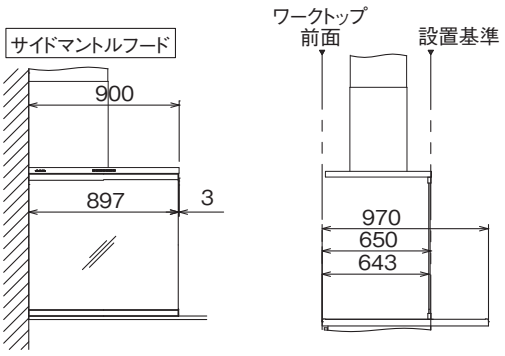


取付ベースはレンジフードに対して左右均等に固定してください。

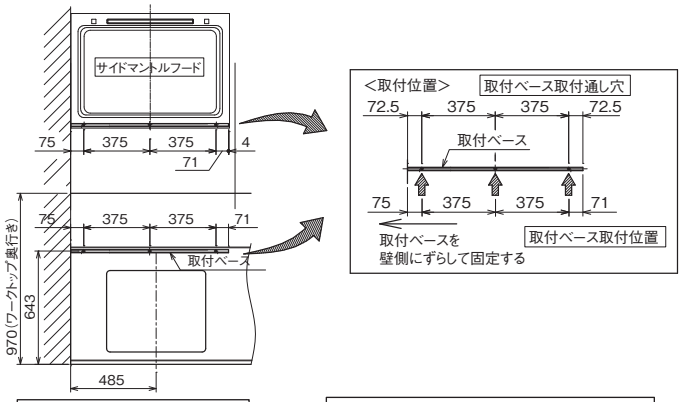
ワークトップを上から見た図

ペニンシュラタイプの場合

コンロ前全面ガラスは壁側に寄せて設置してください。



レンジフードを下から見た図



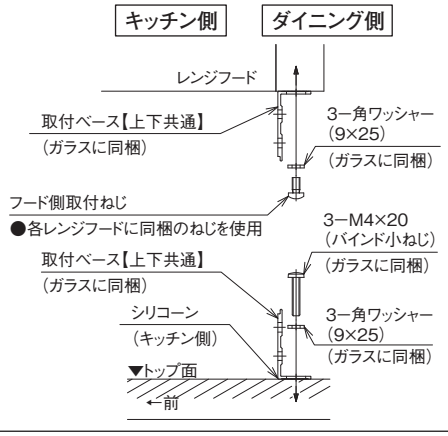
ワークトップを上から見た図

取付ベースは壁側に寄せて固定してください。

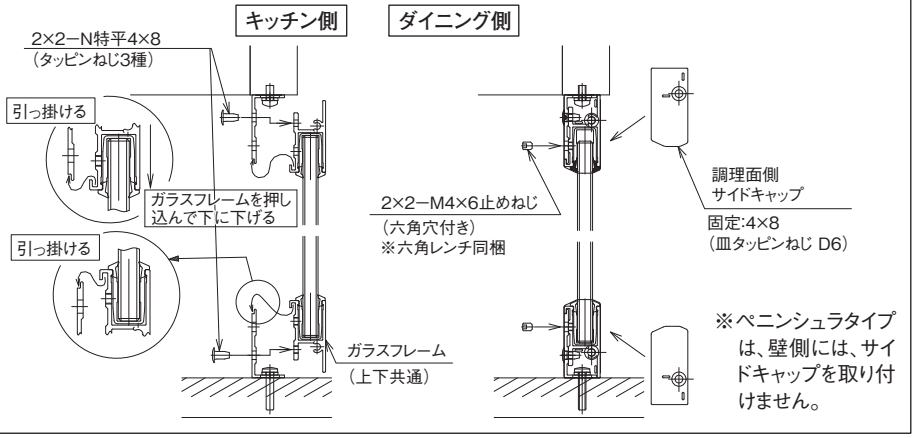
①コンロ前全面ガラスの取付ベースを、レンジフードと上板に取り付けます。ガラス同梱の角ワッシャー(9×25)を必ず間に入れて、下図の通り固定してください。

⚠注意 アイランドタイプとペニンシュラタイプでは、取付ベースの固定位置が異なりますので注意してください。

●取付けベースの取付け



●全面ガラスの取付け



※ペニンシュラタイプは、壁側には、サイドキャップを取り付けません。

14 シンク前スクリーン、ハーフガラスの取付け

シンク前スクリーン、ハーフガラスの取付方法については、別途専用取付設置説明書をご覧ください。

15 調整方法

引出しの取外し、鏡板の調整および着脱方法は、「フロアユニット・ウォールユニット取付・設置説明書の調整方法」をよくお読みになり作業を行ってください。

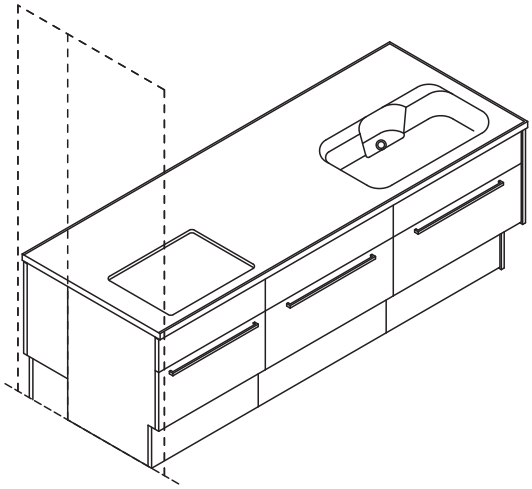
システムキッチン

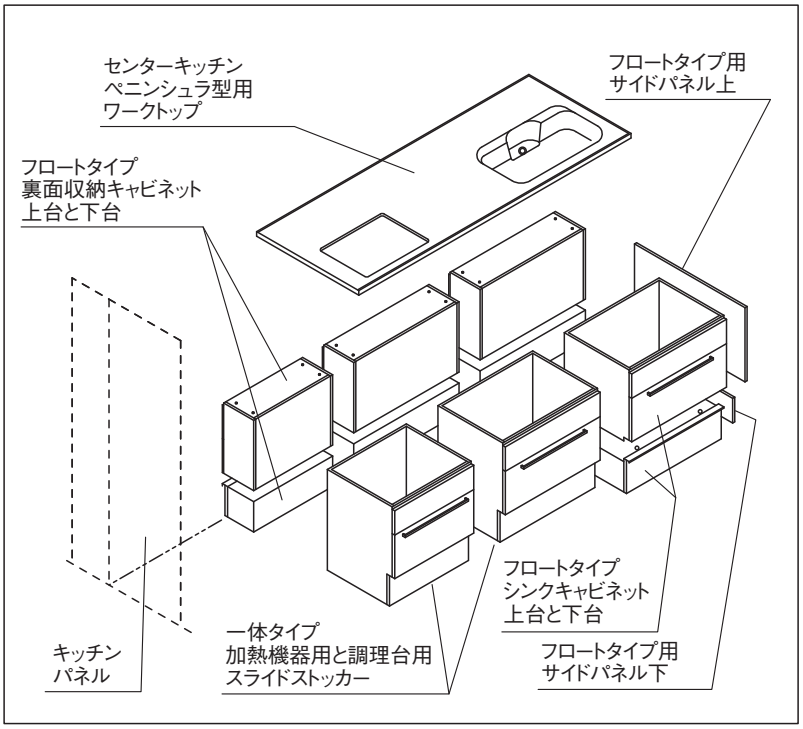
センターキッチンフロートタイプ(970) 取付・設置説明書

この説明書はお客さまに必ずお渡しください。

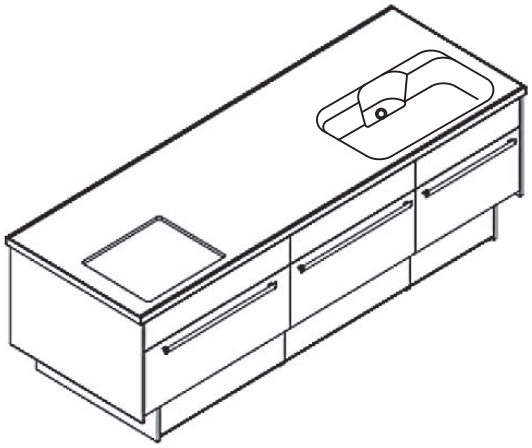
■フロート対面キッチンの部材名称

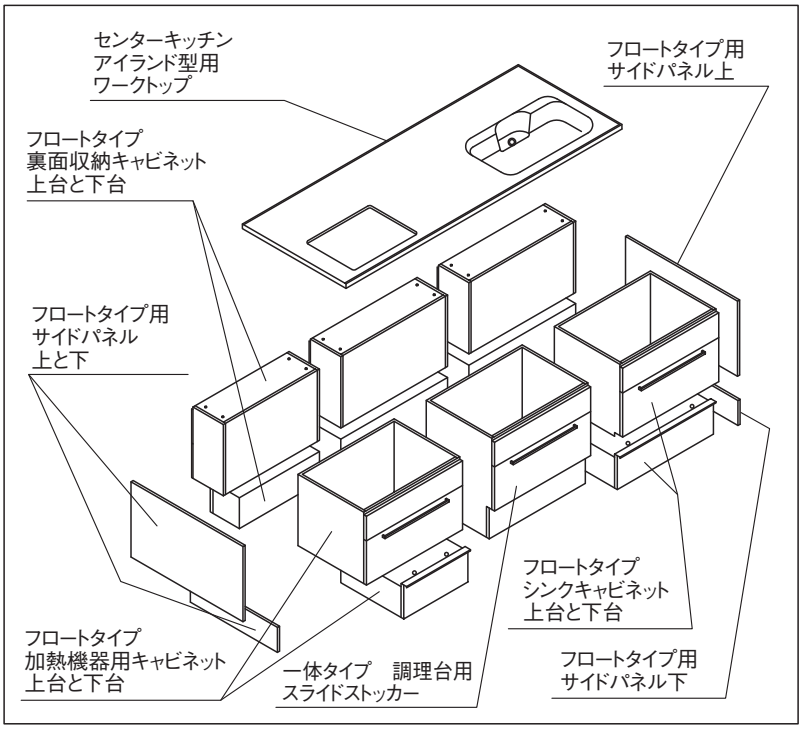
センターキッチンフロートタイプ
ペニンシュラ型





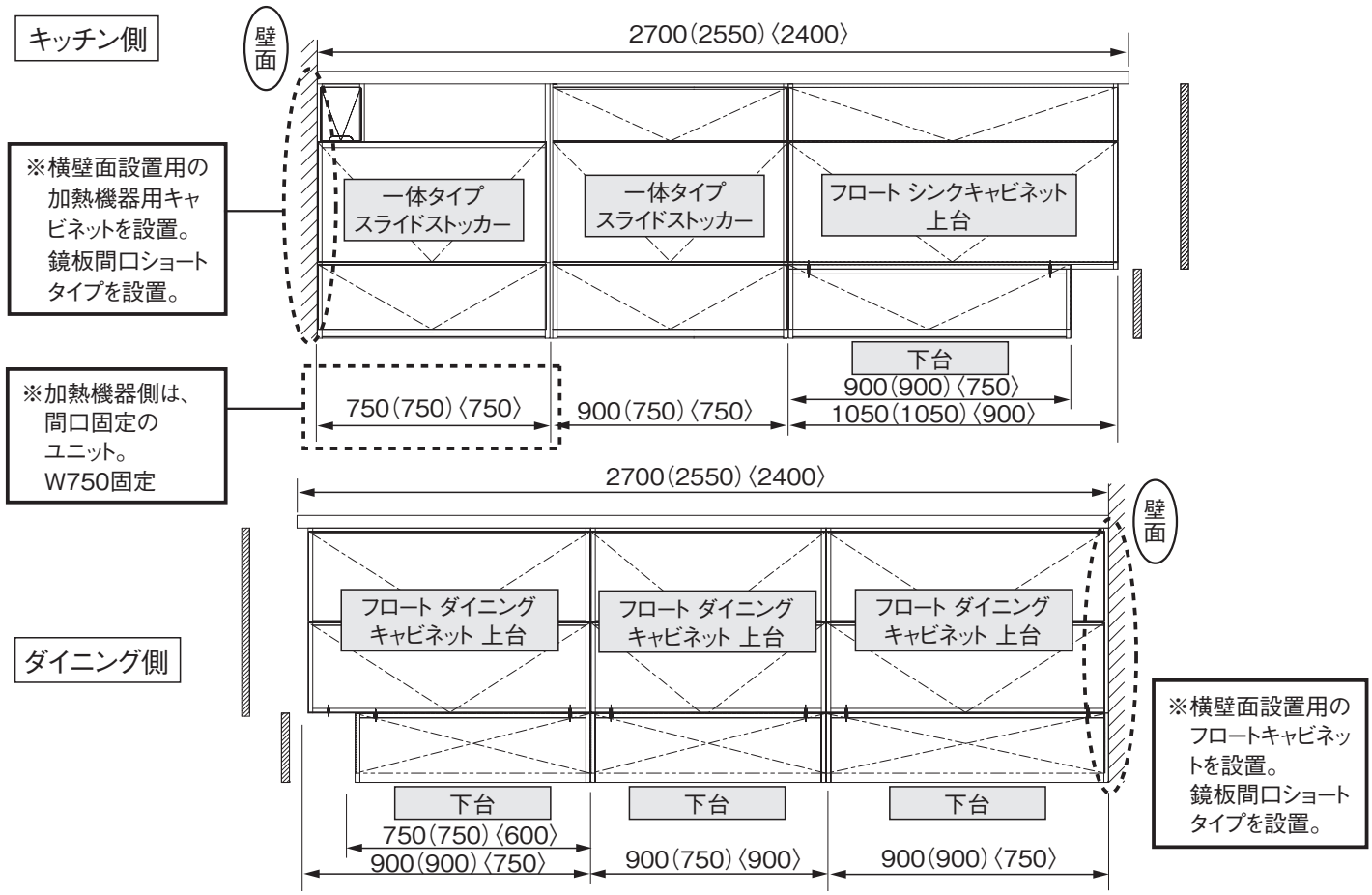
センターキッチンフロートタイプ
アイランド型



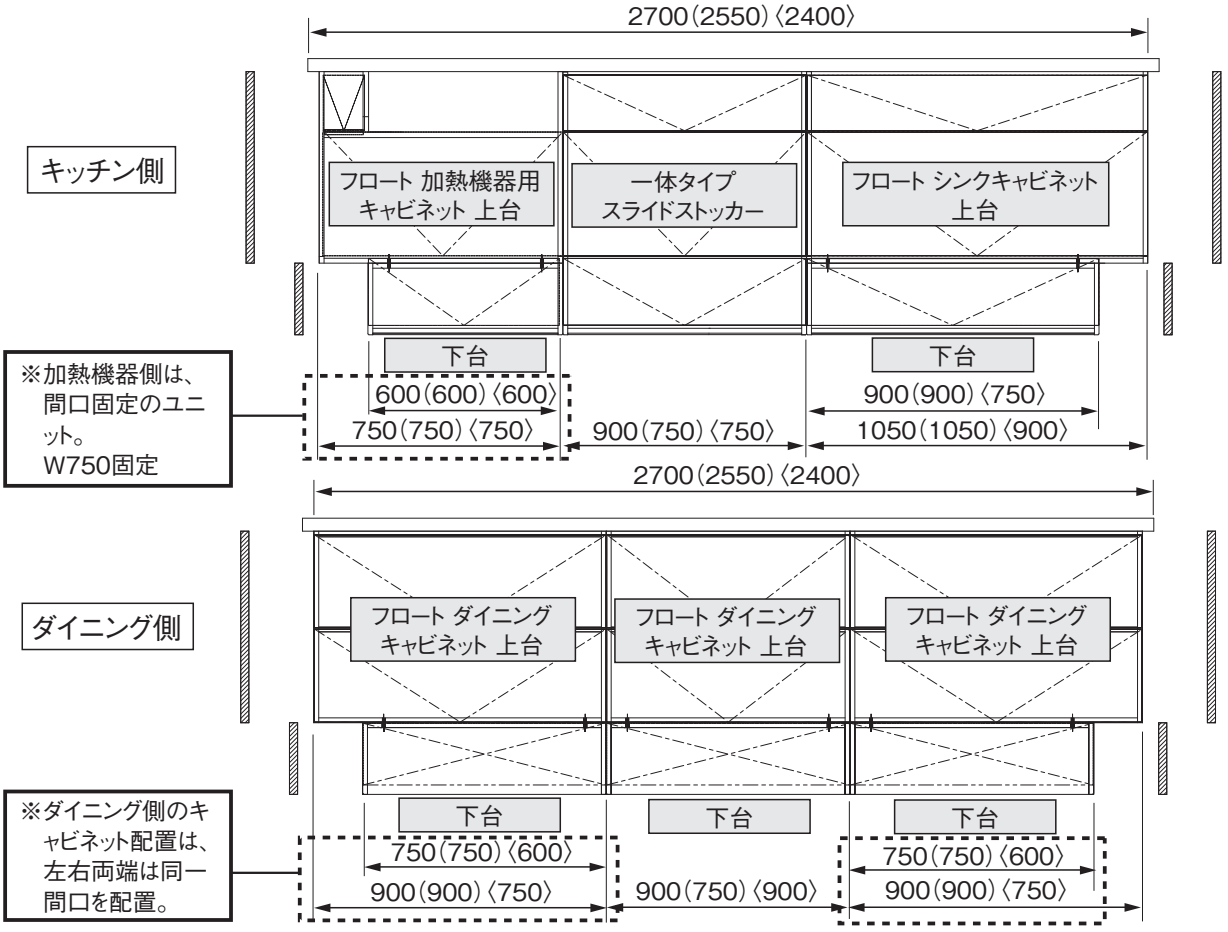


■フロートタイプのキャビネット配置構成（レイアウト）

センターキッチンフロートタイプペニンシュラ型

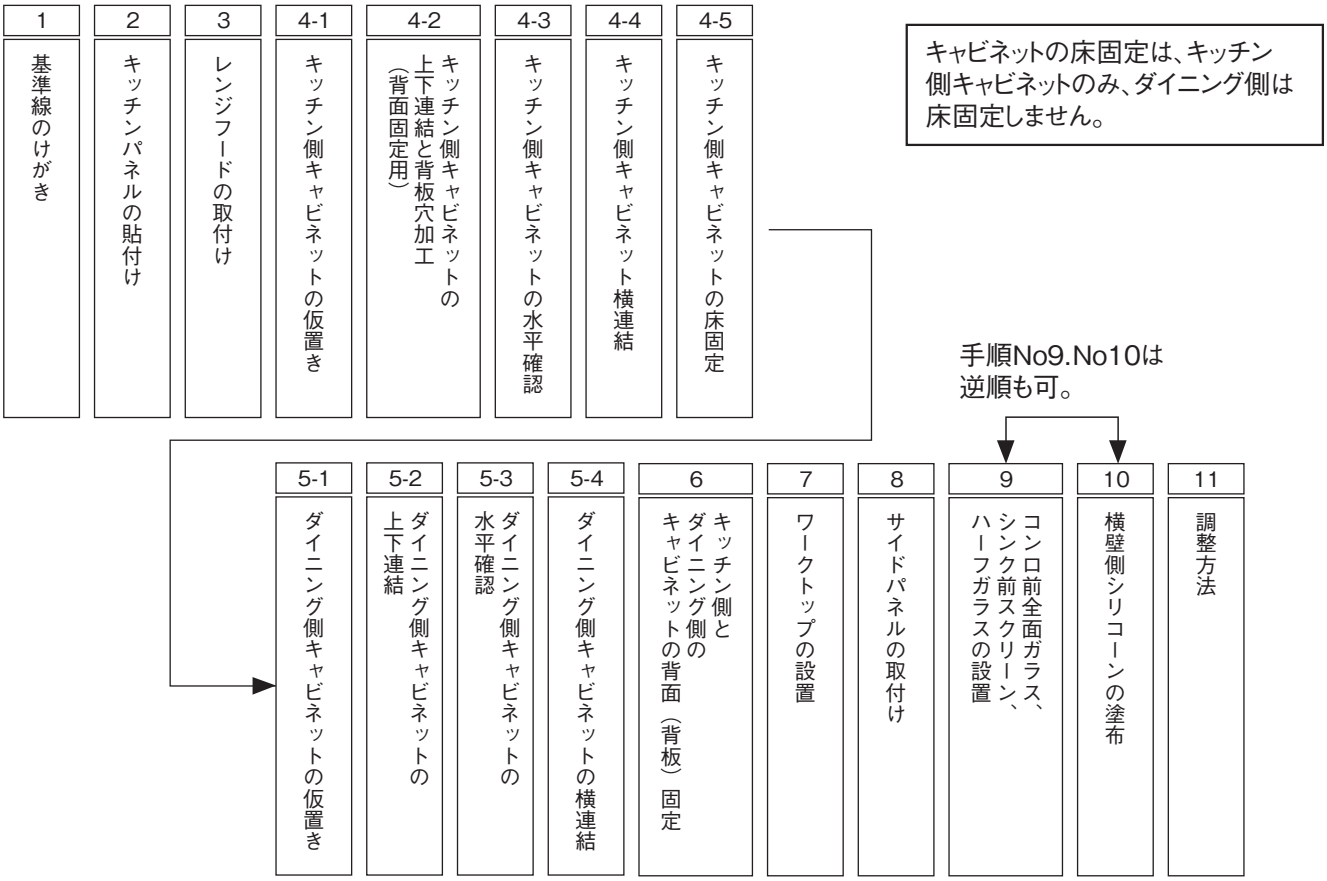


センターキッチンフロートタイプアイランド型

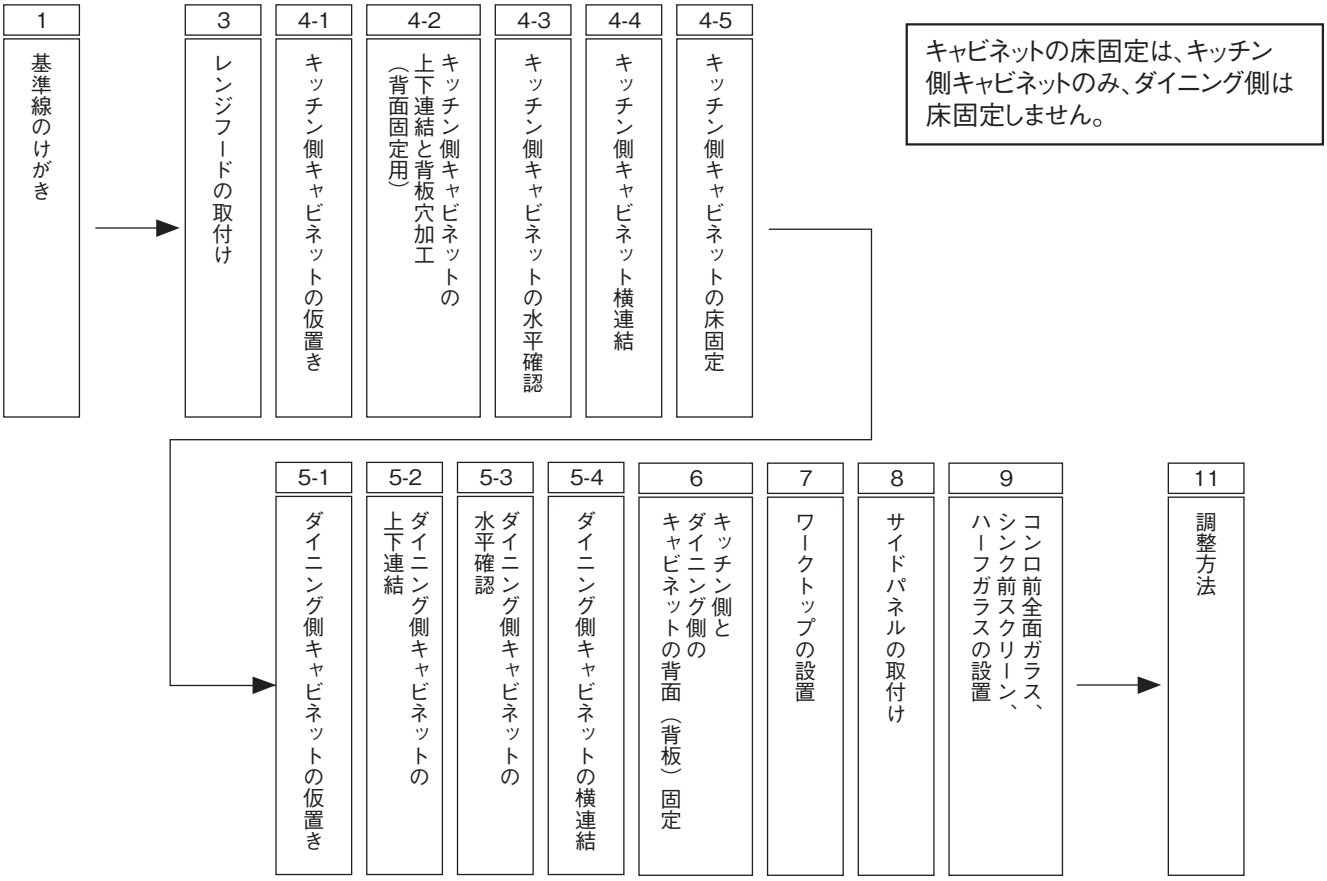


※上図の寸法表記で（　）寸法は W2550 を、〈　〉寸法は W2400 のレイアウト時を示します。

■センターキッチンフロートタイプ ペニンシュラ型 取付・設置手順書



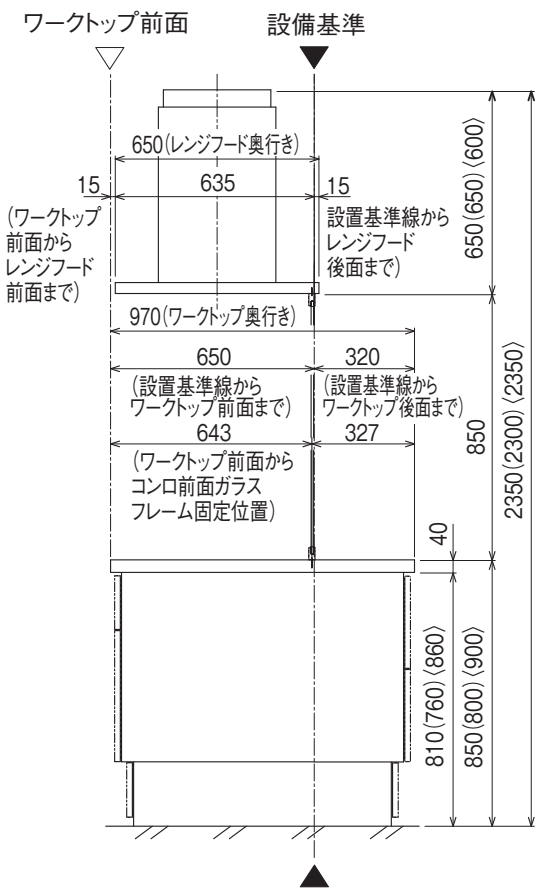
■センターキッチンフロートタイプ アイランド型 取付・設置手順書



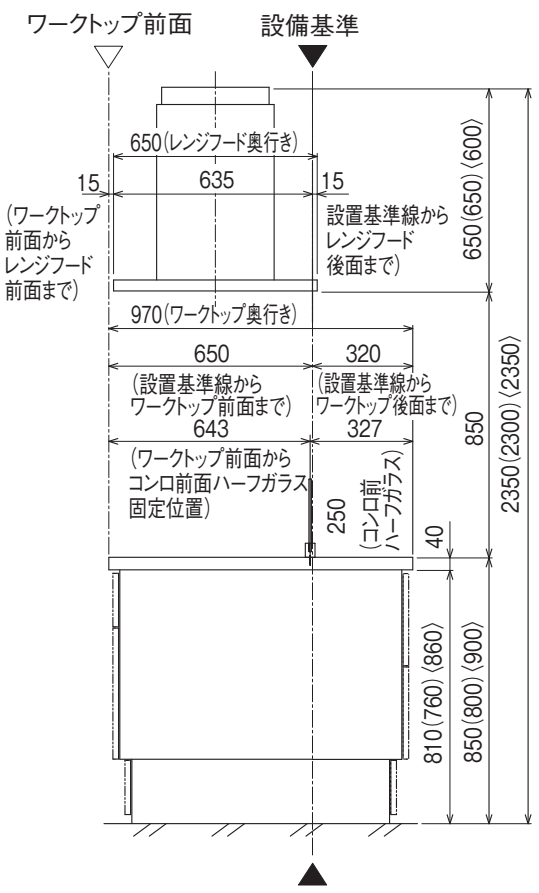
取付位置・側面設置位置

側面

コンロ前全面ガラス仕様



コンロ前ハーフガラス仕様



※下図レンジフードは、FED シリーズを示します。
レンジフードの機種により、奥行き方向の寸法は異なるので、商品ガイドまたは設備レイアウト図を参照ください。

同梱部品一覧表

⚠注意

必ず指定のねじ類を使用する。
使用しないと、製品の脱落などによりケガの原因となります。

取付・設置で使用するねじを固定する場合は、必ずドライバーで行い、しめすぎによるねじの空回り、頭つぶれのないようにする。
固定ねじがきかないと、キャビネットなどが脱落してケガの原因となります。

■同梱部品一覧表（プランによっては付属されていない部品があります）

大皿フレキタッピンねじ 5.3×60（φ17キャップ付）		床固定用
大皿フレキタッピンねじ 5.3×27（φ17キャップ付）		連結用 サイドパネル固定用
皿木ねじ3.3×32 （皿木ねじ3.3×29）		ワークトップとキャビネットの固定用 （コーリアン人造大理石の場合）
カウンター取付金具		ワークトップとキャビネットの固定用
カウンター取付金具 （合板付き）		ワークトップとキャビネットの固定用 （コーリアン人造大理石の場合）

TU固定金具		ワークトップとキャビネットの固定用 （反り調整用） ※コーリアン人造大理石は使用不可
トラスタッピンねじ 3.5×12［3.5×14］		ワークトップとキャビネット固定用 （コーリアン人造大理石の場合）
トラスタッピンねじ4×30		ワークトップとキャビネットの固定用
ボルトM6×43 （キャップ付）		フロートキャビネットの上下 連結用

■排水セット同梱部品　※シンクの種類により同梱部品が異なります。

排水セット部品については、本説明書のP4「同梱部品一覧表（排水セット部品）を参照ください。
ワークトップまたは排水セット部品は、フロートタイプの対面キッチンでも同じ部材で納品されます。

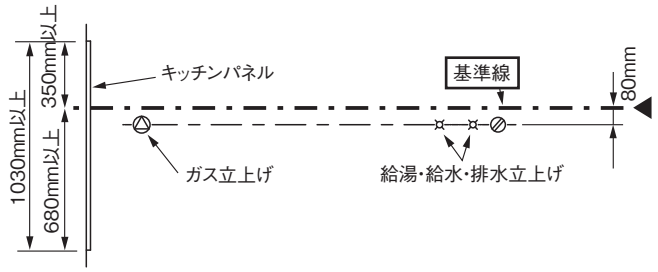
■フロート対面キッチンの設置手順

1 基準線のけがき

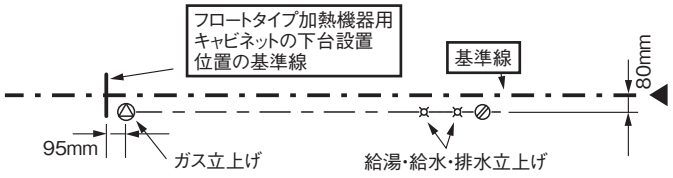
下図を参照し、基準線をけがいてください。
◆基準線をけがくためには下記の点に注意してください。
※事前に設備配管位置、取付け用芯材位置（下地）等の打合せをおこなってください。
※レンジフード取付け用の天吊ボルトの位置、長さについても事前に打合せをおこなってください。

平面

センターキッチンフロートタイプ
ペニンシュラ型



センターキッチンフロートタイプ
アイランド型

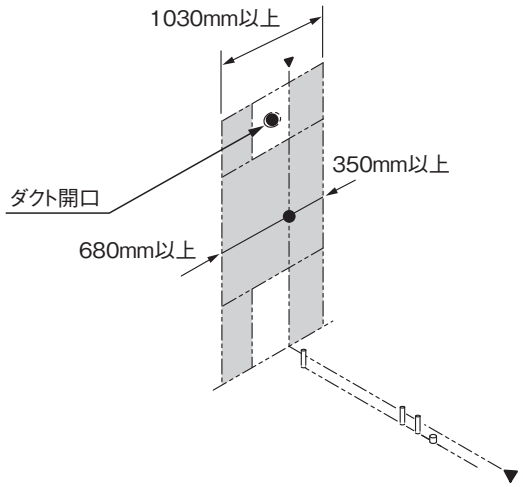


ガス・湯水管・排水管の設備立上げ位置に対し、ダイニング側に80mmの位置が設置基準線となります。

2 キッチンパネルの貼付け　※センターキッチンフロートタイプペニンシュラ型設置のときのみ対象。

キッチンパネルの貼付け方法（設置方法）は、キッチンパネル接着剤セットに付属の取付・設置説明書を参照し、貼付けてください。
けがいた基準線をもとに、キッチン側は680mm以上、ダイニング側は350mm以上、計1030mm以上でキッチンパネルを貼付けます。
※キッチンパネル貼付け前にレンジフード固定用芯材の位置（有る無い）の確認をしてください。
※レンジフード用ダクト開口が有る場合は、ダクト開口を避けキッチンパネルを貼付けます。

センターキッチンフロートタイプ
ペニンシュラ型



センターキッチンフロートタイプ
アイランド型

センターキッチンフロートタイプ
アイランド型はキッチンパネルの
貼付け無し。

3 レンジフードの取付け

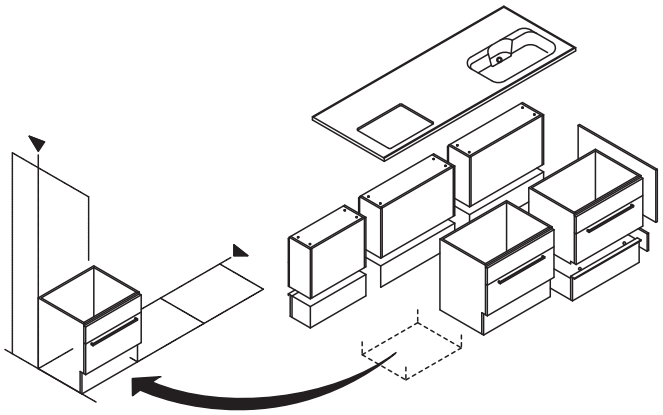
レンジフードの取付けは、レンジフードに付属の取付・設置説明書を参照し、取付けてください。
※レンジフード取付け用の天吊ボルトの位置と長さについて、事前に打合せをおこなってください。天吊ボルトの位置が正しくないとコンロ前全面ガラスが正しく取付きません。

4-1 キッチン側キャビネットの仮置き

キッチン側キャビネットを基準線に合せ、キャビネットを仮置きします。

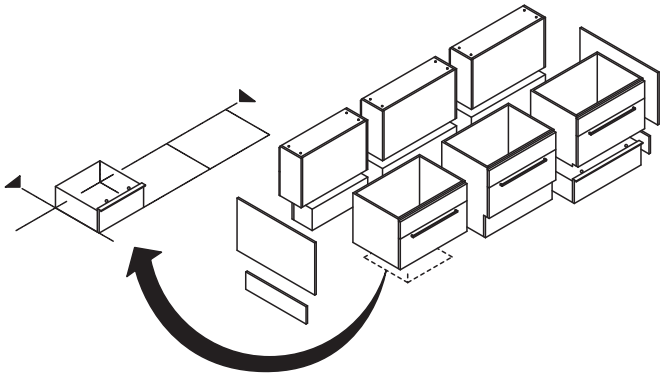
センターキッチンフロートタイプ ペニンシュラ型

センターキッチンフロートタイプペニンシュラ型は、一体タイプの加熱機器用キャビネット(W750)を配置します。



センターキッチンフロートタイプ アイランド型

センターキッチンフロートタイプアイランド型は、フロートタイプ加熱機器用キャビネット下台(W600)を配置します。

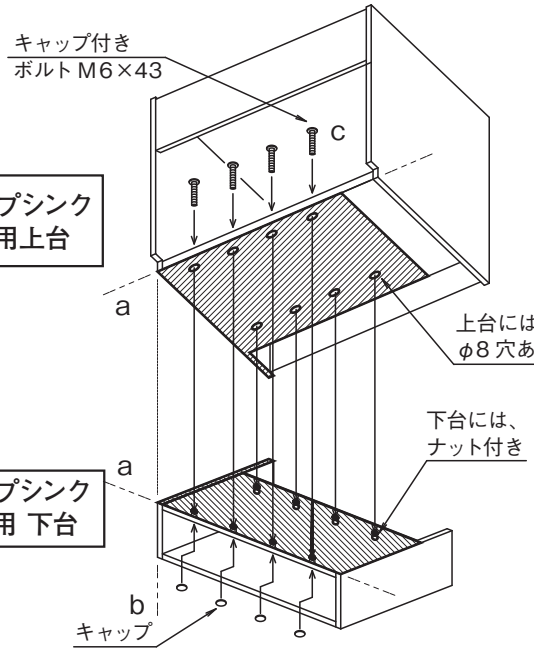


「扉の取外し･引出しの取外し」は、「フロアユニット・ウォールユニット取付･設置説明書」の「調整方法」を参考に付け外ししてください。

4-2 キッチン側キャビネットの上下連結と背板穴加工 （背面固定用）

インパクト禁止

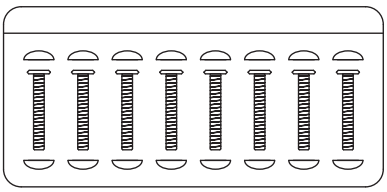
手締めで上下連結をしてください。



〈上下連結手順〉

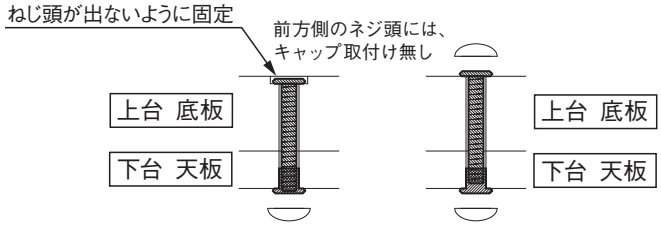
a. フロートキャビネット下台の天板と上台の底板の前面を合わせます。
b. かつ、下台と上台の側面を合わせます。
c. 付属のボルトで上下連結をします。

【参考】フロート用キャビネット上台に付属のボルト・キャップセット

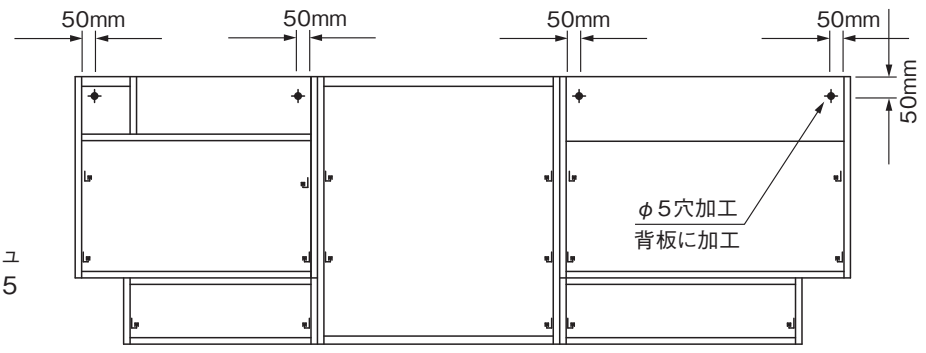


・フロートタイプ加熱機器用キャビネットの上下連結は、6か所で固定。
・フロートタイプシンク用キャビネットの上下連結は、8か所で固定。

前方側のねじ固定 **後方側のねじ固定**



下図を参考にシンクキャビネット、加熱機器キャビネットの背板に下穴（φ5）を各々左右２箇所（計4箇所）あけてください。



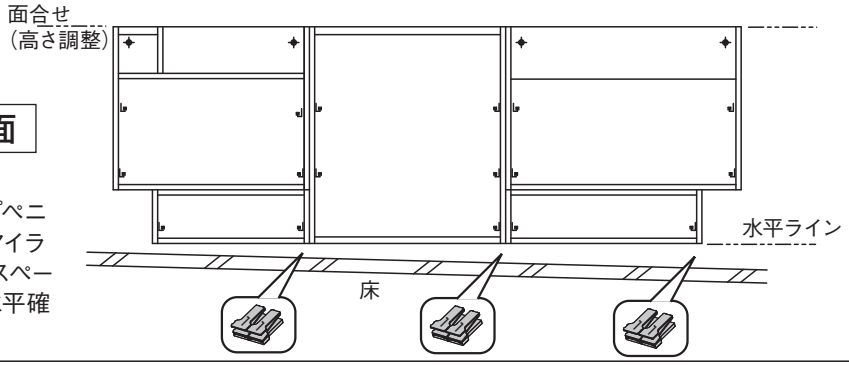
フロートタイプペニンシュラ型もアイランド型もφ５下穴を背板に開けます。

4-3 キッチン側キャビネットの水平確認

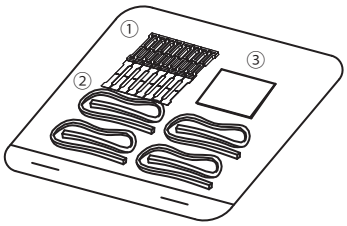
シンクキャビネットに付属の調整スペーサーを使用し、水平垂直を調整してください。
キャビネットの上面が揃うように、各キャビネットの下端に調整スペーサーを入れて使用します。
使用方法の詳細は、調整スペーサーセットに付属の説明書を参照ください。

正面

フロートタイプペニンシュラ型もアイランド型も調整スペーサーセットで水平確認をします。



【参考】フロートタイプシンク用キャビネット下台に付属の調整スペーサーセット

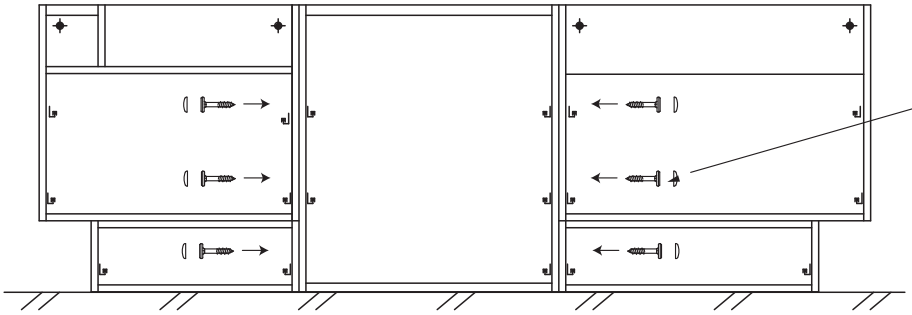


4-4 キッチン側キャビネットの横連結

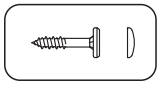
キャビネットの前面、上面を合せ、付属のねじで連結し、キャップを取り付けます。

正面

フロートタイプペニンシュラ型もアイランド型も横連結をします。



大皿フレキタッピンねじ
5.3×27キャップ付き

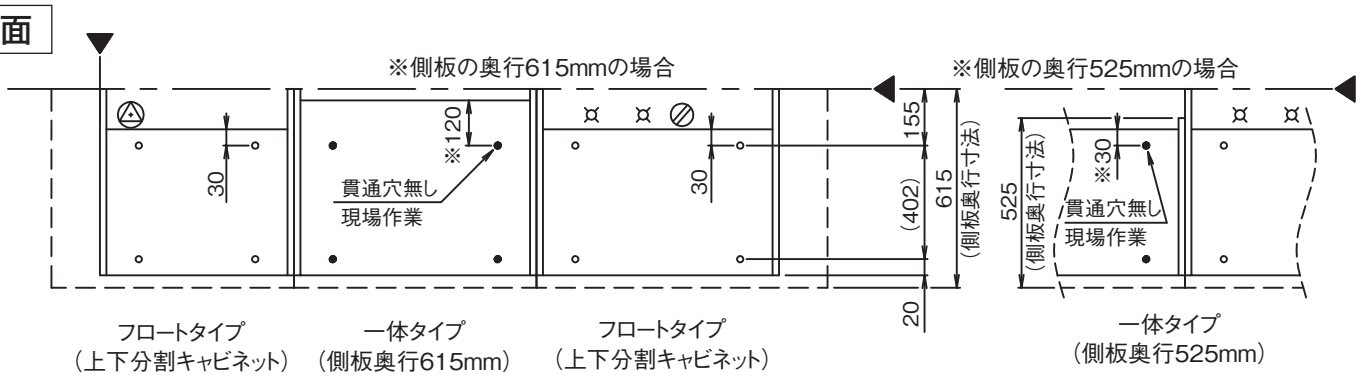


シンク用キャビネットも加熱用キャビネットも上台は4か所、下台は2か所で固定します。

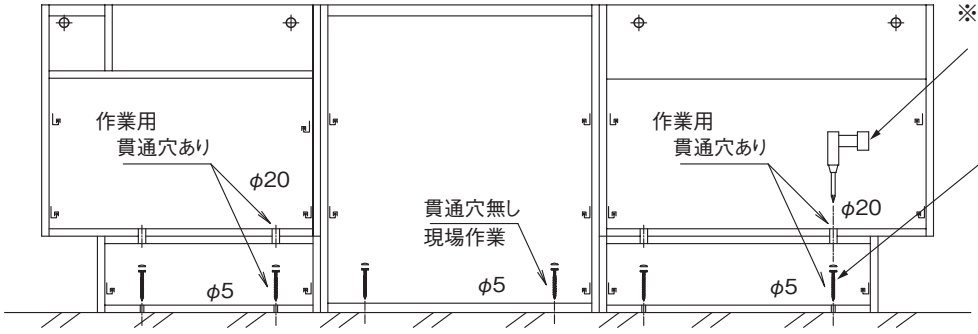
4-5 キッチン側キャビネットの床固定

キャビネットの連結と水平確認後、付属のネジで床固定をします。
※一体タイプのスライドストッカーは、床固定用の下穴（φ5）を開けて付属のねじで床固定をします。
側板の奥行615mmの場合と525mmの場合で、穴開け位置（背板からの位置）が異なるので、下図を参考に穴開けをしてください。

平面

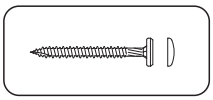


正面



※フロートタイプを床固定する際、L＝400mmのビットで上台より固定することができます。

大皿フレキタッピンねじ
5.3×60キャップ付き

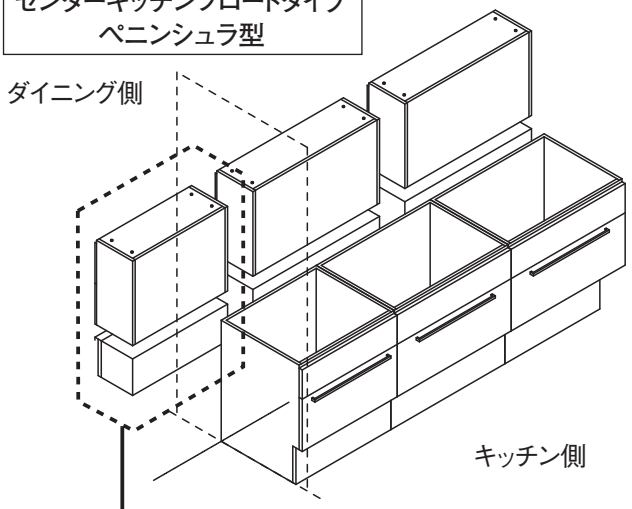


フロートタイプペニンシュラ型もアイランド型も床固定をします。
ペニンシュラ型の加熱機器用キャビネットは一体タイプになるので、貫通穴φ5は現場作業です。

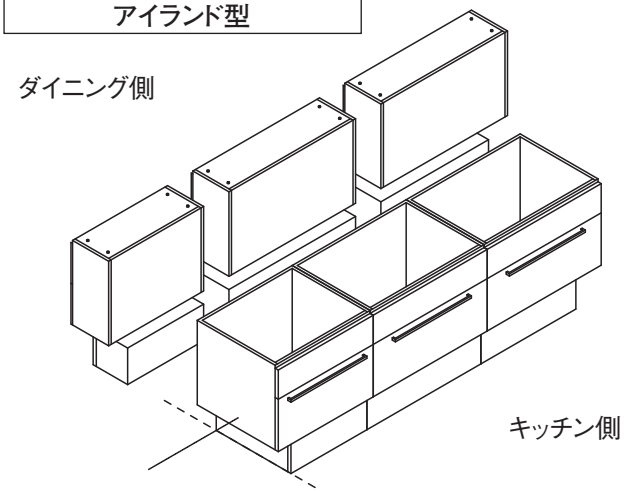
5-1 ダイニング側キャビネットの仮置き

ダイニング側キャビネットをキッチン側キャビネットの背面に仮置きしてください。
ダイニング側キャビネットは、フロートタイプ上台キャビネットと下台キャビネットの上下分割キャビネットの設定です。

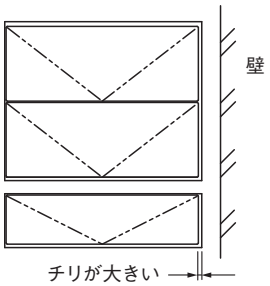
センターキッチンフロートタイプ
ペニンシュラ型



センターキッチンフロートタイプ
アイランド型



フロートタイプのダイニング側キャビネットに壁側設置用キャビネットがあります。

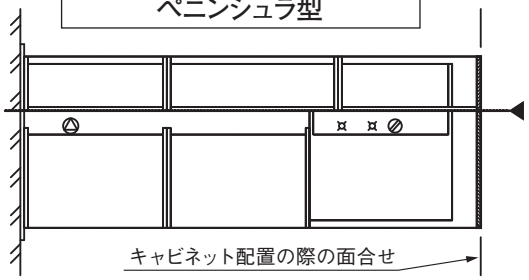


キャビネットに右勝手（R）・左勝手（L）があるので開梱時に
よく確認してください。
壁面側にチリが大きい方を配置します。
「チリが大きい方」とは、左図のように鏡板(引出しの前板)の
片側を間口ショートさせた状態を示します。

■ダイニング側キャビネットとキッチン側キャビネットの設置・位置合せ

平面

センターキッチンフロートタイプ
ペニンシュラ型



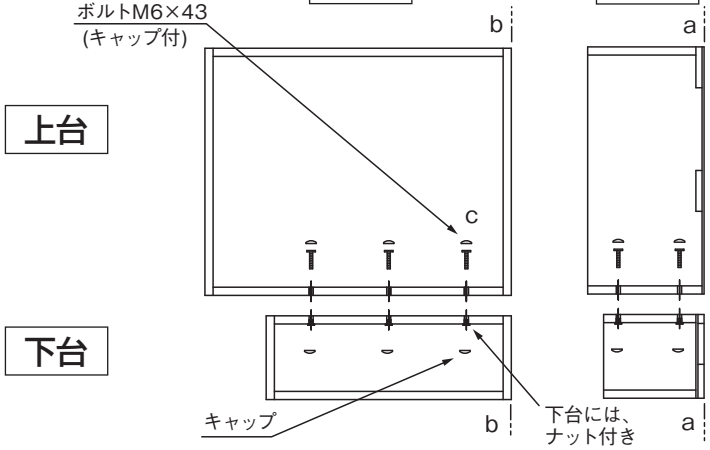
センターキッチンフロートタイプ
アイランド型

※アイランド型で左右の面合せが、合ないときは左右均等にふり分けて仮置き設置ください。

5-2 ダイニング側キャビネットの上下連結

正面

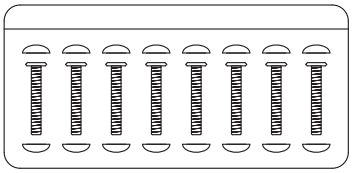
側面



〈上下連結手順〉

a. フロートキャビネットの上台と下台の背面（側板の後ろ木口）を合わせます。
b. かつ、下台と上台の側面を合わせます。
c. 付属のボルト・キャップで上下連結をします。

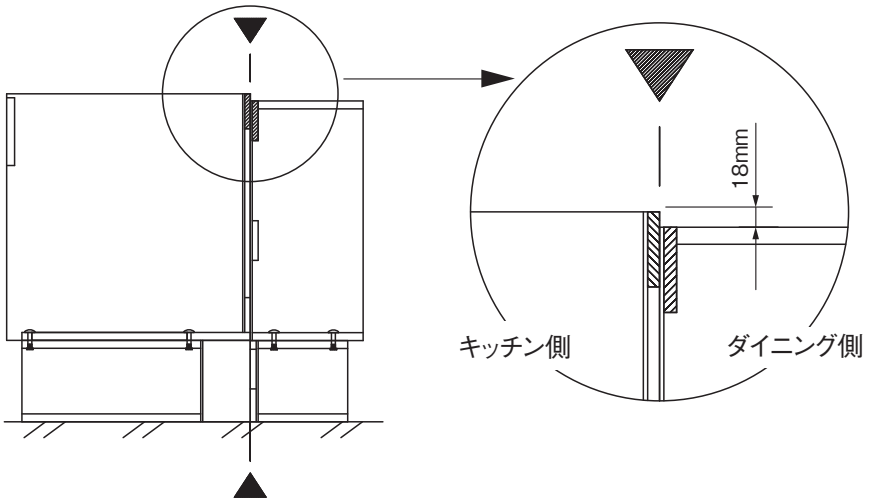
【参考】フロート用キャビネット上台に付属の
上下連結用ボルト・キャップセット



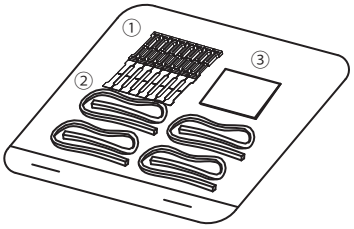
5-3 ダイニング側キャビネットの水平確認

ダイニング側キャビネットを調整スペーサーを使用し、水平垂直を調整してください。
キッチン側キャビネットとダイニング側キャビネットの段差が18mmになるように調整をしてください。

⚠注意 段差が18mmで水平垂直になったか確認する。
段差が18mmでないと、ワークトップを反って固定してしまう恐れがあります。

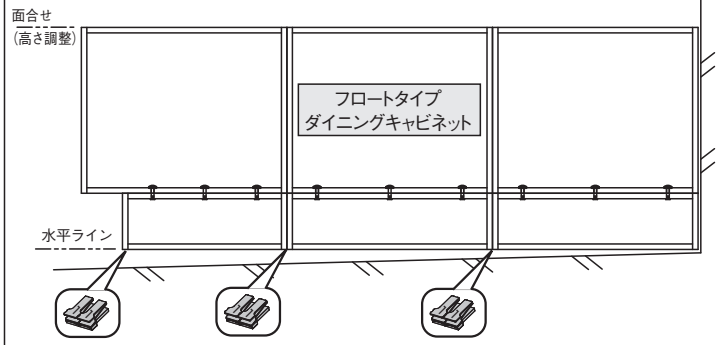


【参考】シンクキャビネットに付属の
調整スペーサーセット

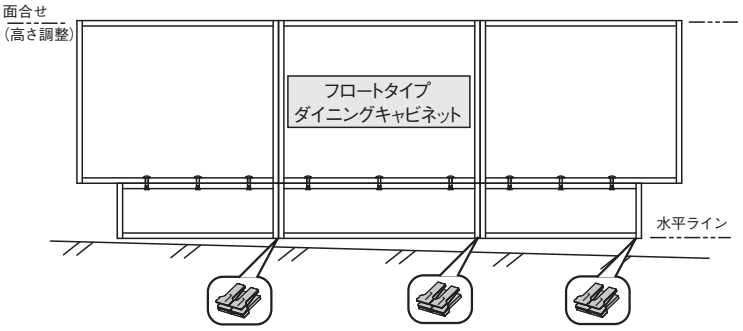


正面

センターキッチンフロートタイプ
ペニンシュラ型



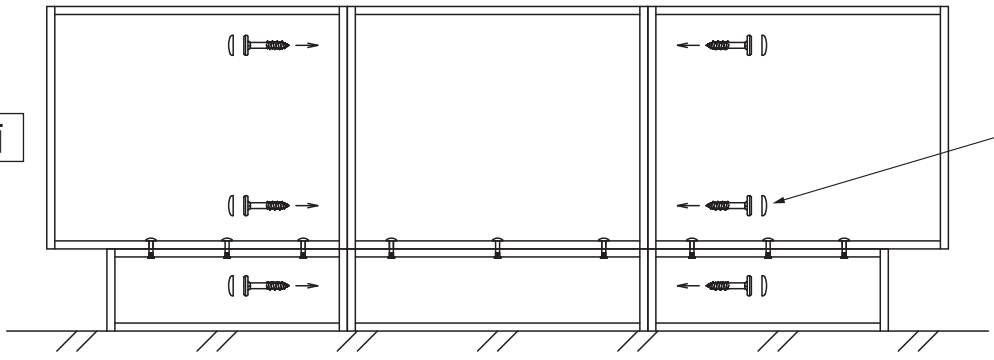
センターキッチンフロートタイプ
アイランド型



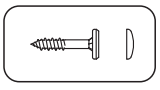
5-4 ダイニング側キャビネットの横連結

キャビネットの前面、上面を合せ、付属のねじで連結し、キャップを取り付けます。

正面



大皿フレキタッピンねじ
5.3×27キャップ付き

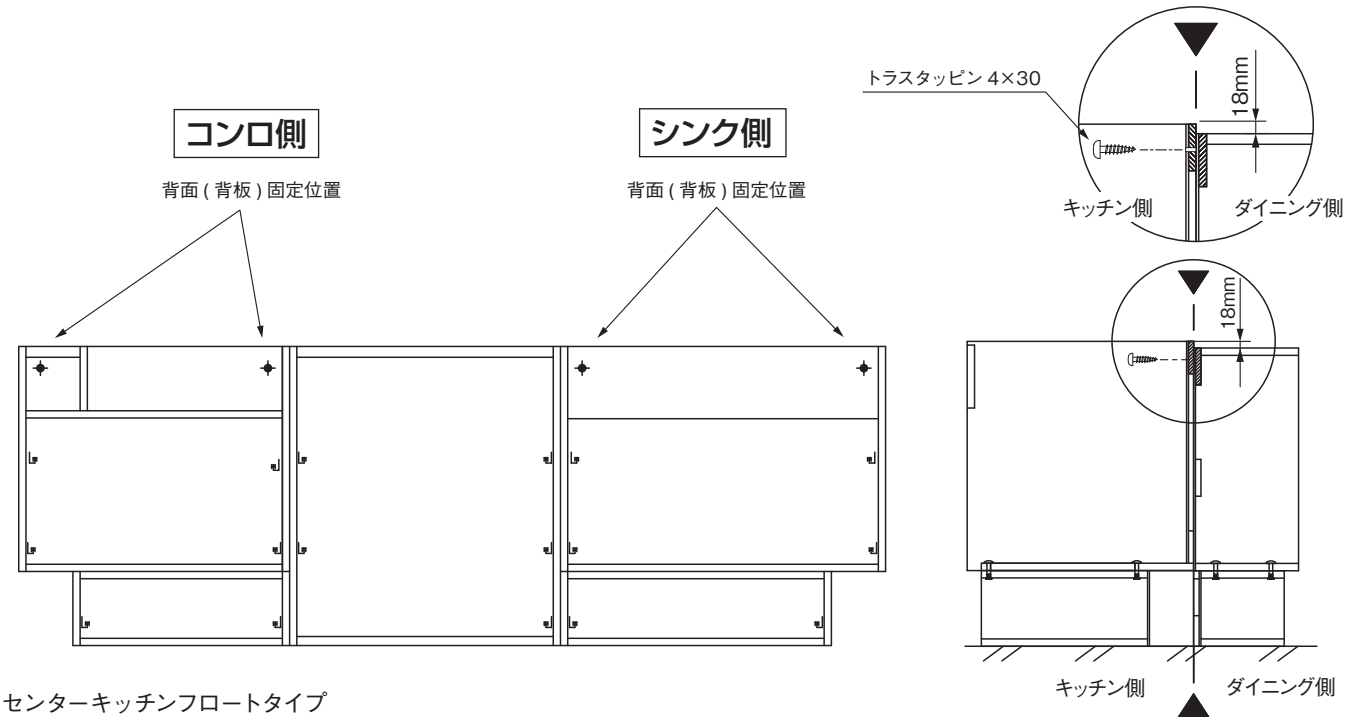


センターキッチンフロートタイプペニンシュラ型もアイランド型も横連結をします。

ダイニング側キャビネットも
上台キャビネットは、4か所
下台キャビネットは、2か所
で横連結します。

6 キッチン側とダイニング側の背面(背板)固定

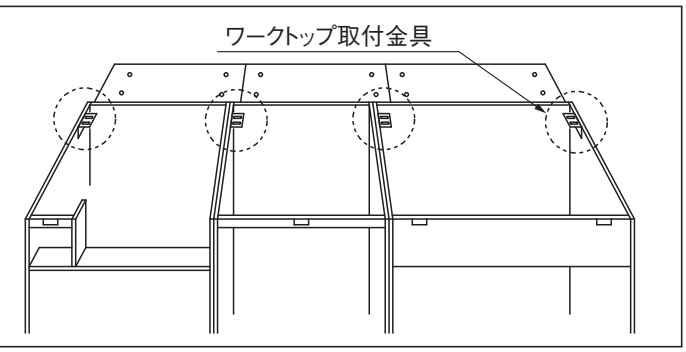
シンク用キャビネットと加熱機器用キャビネットの背板にあけた穴で、キッチン側キャビネットとダイニング側キャビネットの背板同士を付属のねじで固定してください。
各々左右の2箇所（計4箇所）の下穴で固定します。

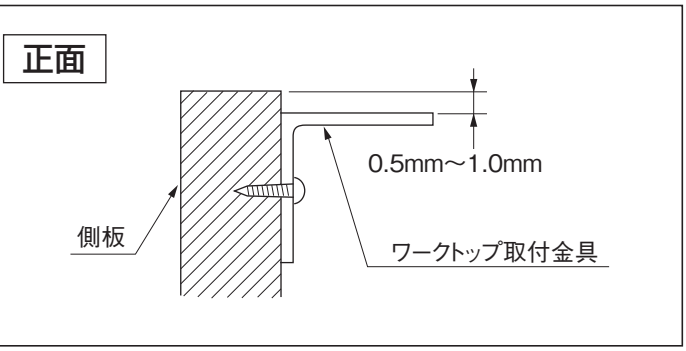


7 ワークトップの設置

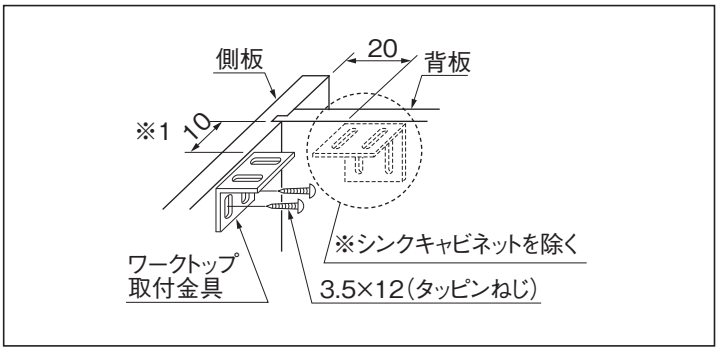
キッチン側キャビネットにワークトップを固定するワークトップ取付金具を図の位置に固定してください。

ワークトップ取付金具 設置例

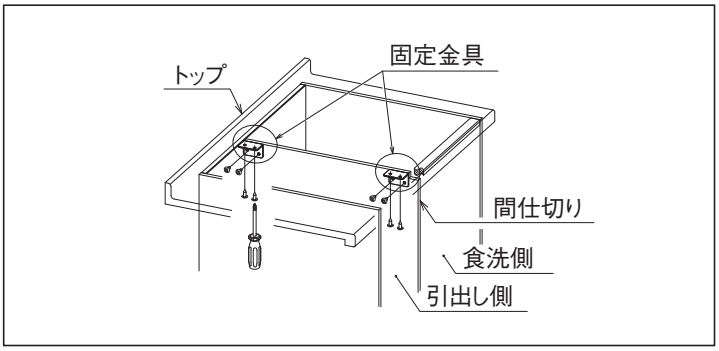




※1　ワークトップ裏面に裏打ち材がない場合は、金具の位置を裏打ち材がある位置にずらして取付けてください。

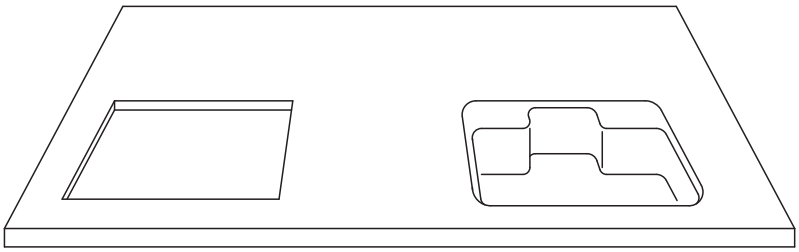


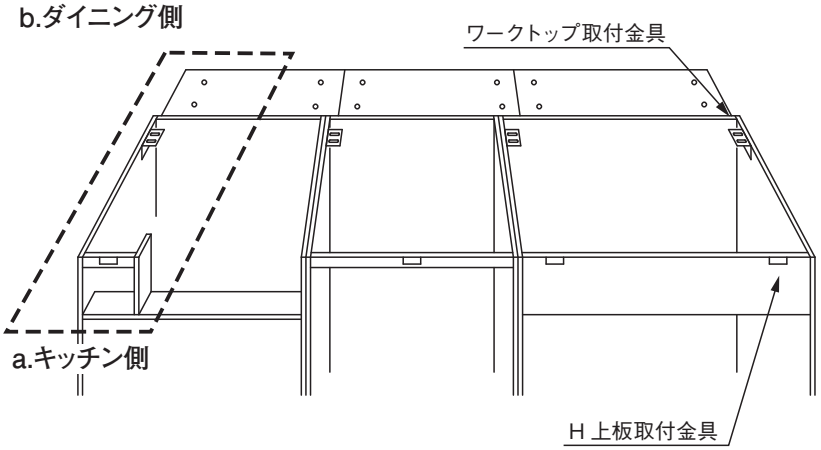
間口750以上の食洗キャビネットは、下図を参照し付属の固定金具を2カ所固定してワークトップと固定してください。

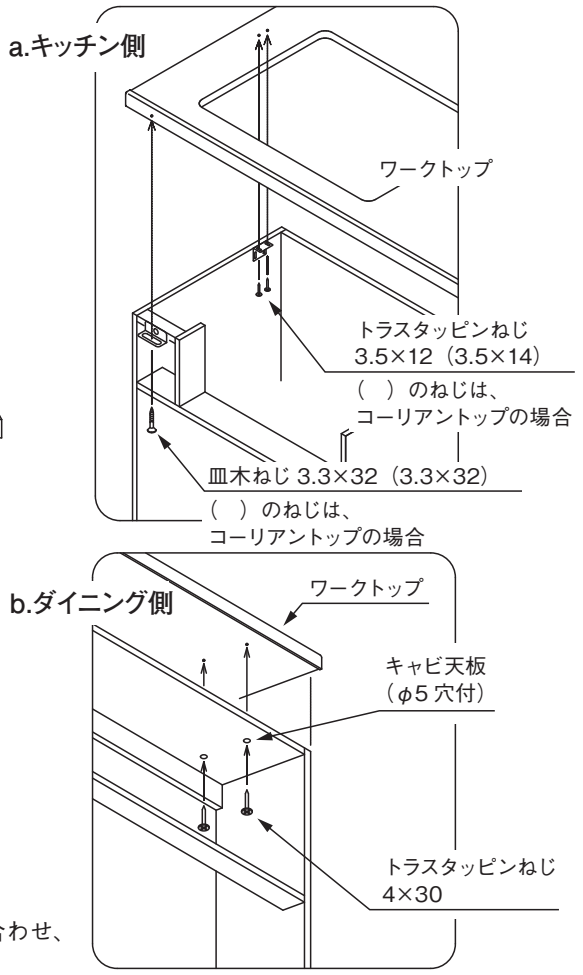


■ワークトップのねじ固定

a. キッチン側は、
キッチン側キャビネットに取付けたワークトップ取付金具とキャビネット前面に付いているH上板取付金具を付属のねじで固定します。
b. ダイニング側は、
キャビネットの天板とワークトップを付属のねじで固定します。
キャビネットの天板には、φ5の穴があいてます。





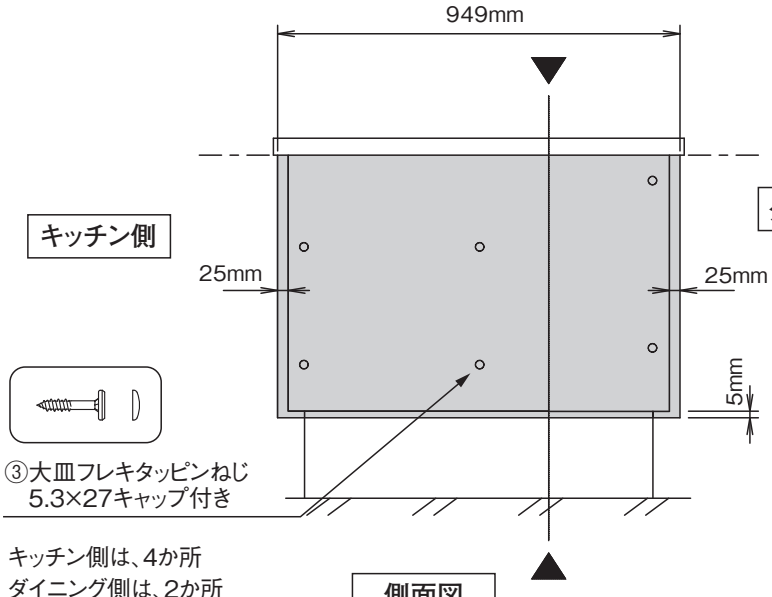


アイランド型の場合、ワークトップとキャビネット側面は左右均等に振り分けて合わせ、設置してください。

8 サイドパネルの取付け

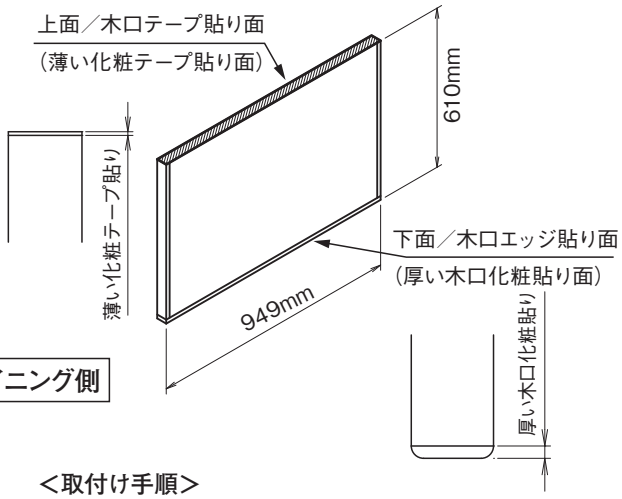
サイドパネルには、フロートタイプキャビネットの上台用と下台用のサイドパネルがあります。

8-a. フロートタイプ用サイドパネル上は、949×610（W×Hmm）で納品されます。
高さサイズのカット作業は不要です。
サイドパネル上は、右図のように天地方向がありますので取付け時に注意ください。



キッチン側は、4か所
ダイニング側は、2か所
付属のねじで固定します。

側面図



＜取付け手順＞

①木口テープ貼り面をワークトップ下面に押し当てる。

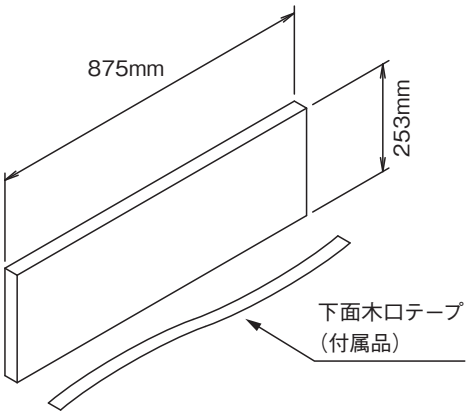
②キャビネット側板の木口面より25mm出した位置でクランプで固定する。

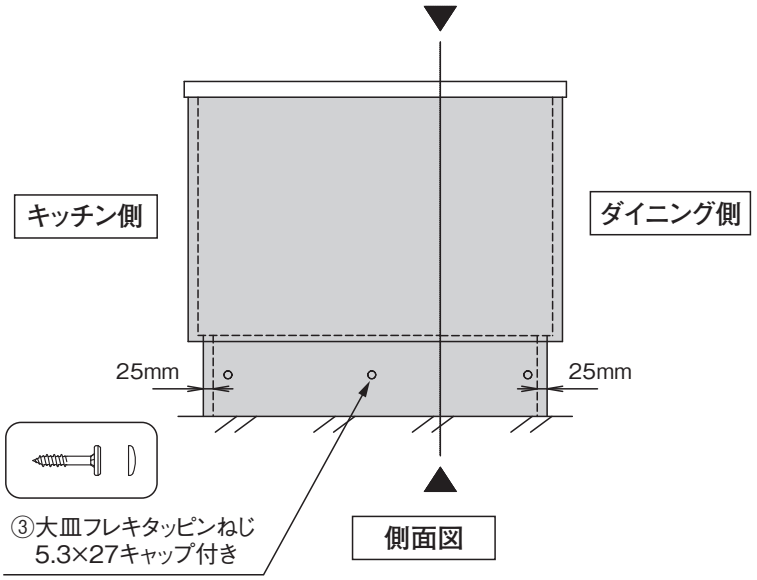
サイドパネルは、
下面に5mm出るサイズにしてます。

③キャビネットの内面(側板)にあいているφ5の穴より付属のねじで固定してください。

8-b. フロートタイプ用サイドパネル下は、875×253（W×Hmm）で納品されます。高さサイズ253mmは、ワークトップ900高さ用です。
ワークトップ高さ850mm・800mmのときは、カット作業と木口テープ貼りの作業が必要となります。

ワークトップ高さ	パネルカット高さ
900	253（カット無し）
850	203
800	153





＜取付け手順＞

①ワークトップ高さを確認して、上記表よりサイドパネル下をカットしてください。
カット面に付属の木口テープをゴム系接着剤で貼付けます。
ゴム系接着剤は、現場準備です。

②木口テープ貼りした面を下にしフロートキャビ下台の側板木口より25mm出した位置で合せて、クランプで固定する。

③キャビネットの内面（側板）にあいているφ5の穴より付属のねじで固定してください。

キッチン側は、2か所
ダイニング側は、1か所
付属のねじで固定します。

9 コンロ前全面ガラス、シンク前スクリーン、ハーフガラスの設置

■コンロ前全面ガラスの設置

P15「11. コンロ前全面ガラスの取付け」を参照

■シンク前スクリーン、ハーフガラスの取付け

シンク前スクリーン、ハーフガラスの取付方法については、別途専用取付設置説明書をご覧ください。

10 シリコーンの塗布　センターキッチンフロートタイプペニンシュラ型の設置のみ対象

キッチンユニットとキッチンパネルのすき間にキッチンパネルと同系色のシリコーンを塗布してください。

①ワークトップとキッチンパネルのすき間
②キャビネットとキッチンパネルのすき間にシリコーンの塗布をしてください。

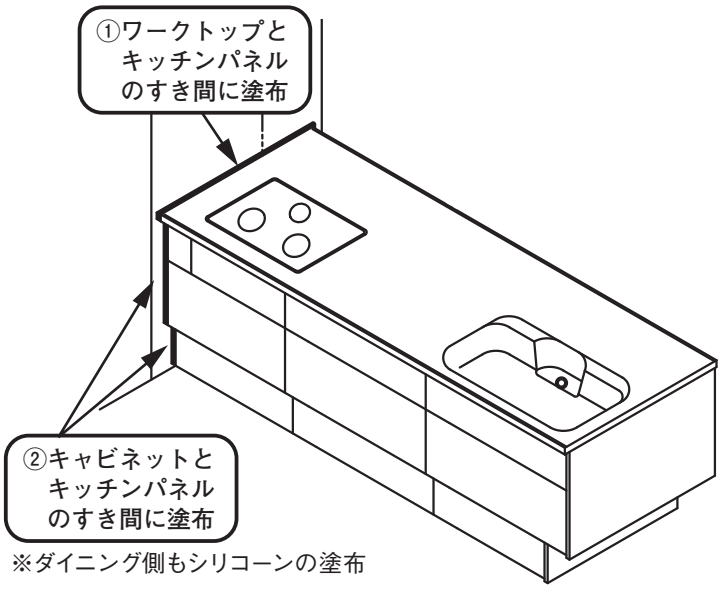
⚠注意

キッチンパネルが弊社製の場合、キッチンパネルとワークトップの間は、キッチン取付・設置区分となります。

キッチンパネルが弊社製以外（タイル壁等）の場合の止水処理は、内装工事区分となる場合があるので、壁面・床面等の間の目地処理は、事前に元請様と作業区分の打合せを行ってください。

⚠注意

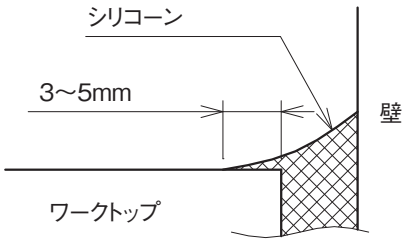
シリコーンの塗布が不完全な場合、水こぼれでキッチン本体や壁・床をいためるおそれがあります。



※ダイニング側もシリコーンの塗布

ワークトップとキッチンパネルの目地処理方法

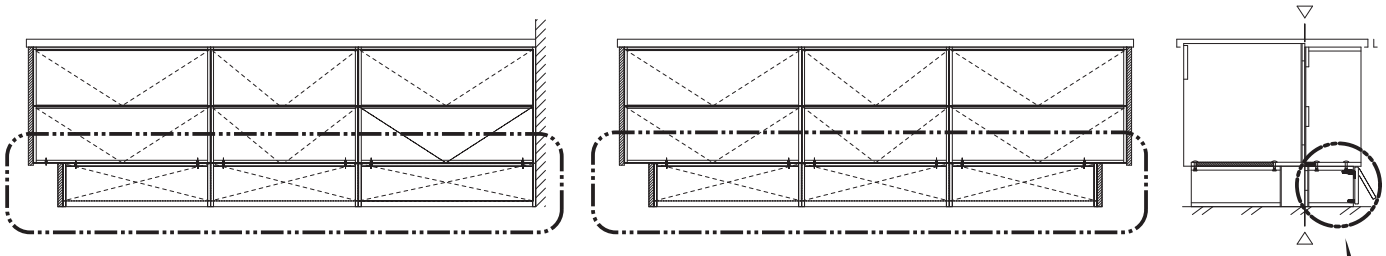
ワークトップにシリコーンが3～5mm程度のるように目地処理してください。



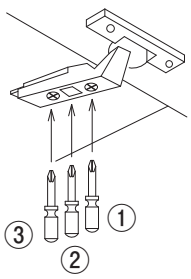
11 調整方法

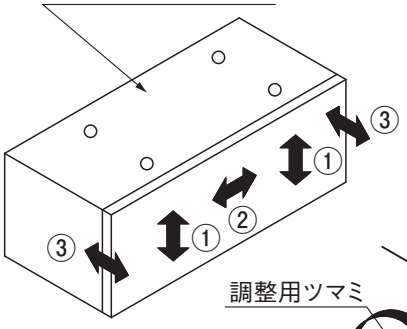
引出しの取外し、鏡板の調整と着脱方法は、「フロアユニット・ウォールユニット取付・設置説明書」の調整方法を参照し作業を行ってください。

フロートタイプのダイニングユニット下台キャビネットの扉調整方法



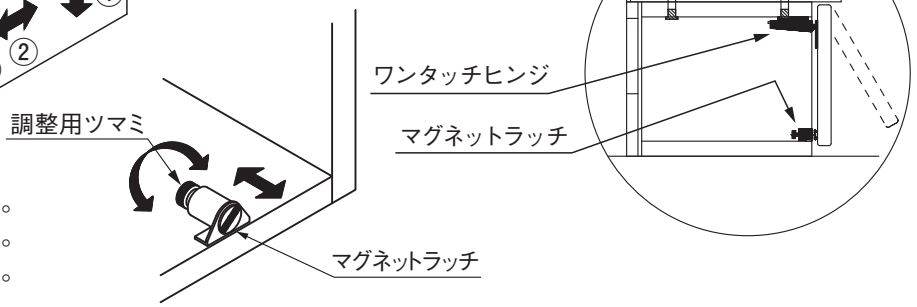
ワンタッチヒンジ





マグネットラッチ

調整用ツマミを回すと、前後方向に調整できます。



①のねじを回すと、上下方向に調整できます。
②のねじを回すと、左右方向に調整できます。
③のねじを回すと、前後方向に調整できます。

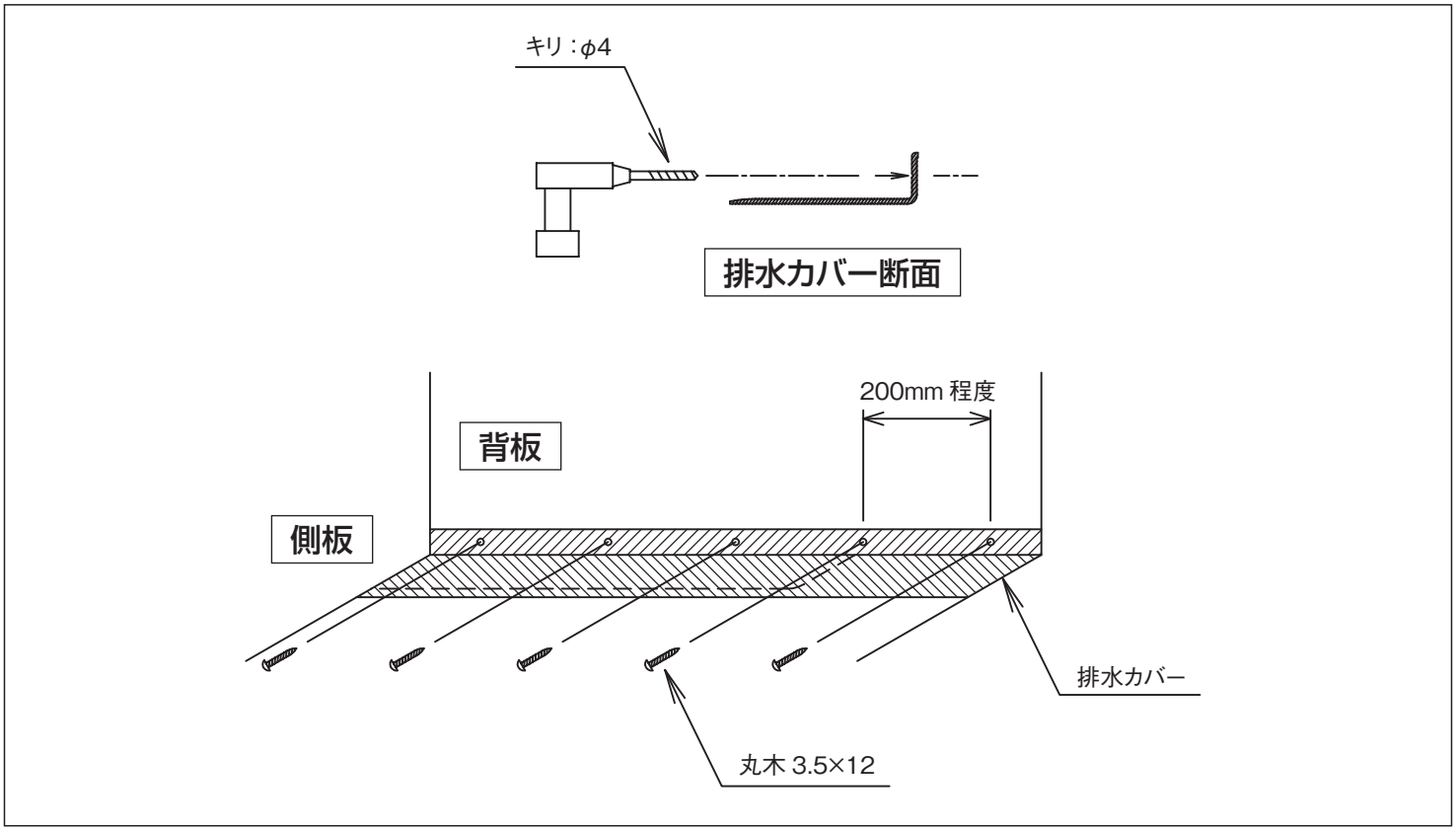
■排水カバーの付け外し方

●取付け方

下図のように排水カバーに下穴（φ4）を開け付属の固定用ねじでキャビネットの背板に固定します。
下穴（φ4）は、ピッチ＝200mm程度の間隔であけてください。

●取外し方

下図のように排水カバーを固定しているねじを外すと外せます。



●上図の排水カバーは、フロートタイプシンク用キャビネットとフロートタイプ加熱機器用キャビネットの上台キャビネットに設定されています。